大正十四年十二月廿九日第三種郵便物認可

新京日日新聞

夕刊　五月廿一日（月）

發行所　新京永樂町四ノ一　新京日日新聞社　電話三二五・三三〇〇
發行人　十河榮忠
編輯人　松本勇
印刷人　谷啓二郎

黒田次官問題
無氣味な政局の推移

高橋藏相進退を一兩日中に決意か
廿二日の法相の說明で決定
政府は靜觀を粧ふ

（東京國通）黒田問題の內容判明まで、政府は事態靜觀と云つてゐるが、それまでには三四ケ月を要し、この長期間晏如たるは許されず、小山法相は廿二日定例閣議で報告說明せねばならぬので、それ以前に或は廿一日頃小山法相より齋藤首相、高橋藏相に事件の概要を述べ、高橋藏相はこの報告を機會に進退の決意をなすものと觀られてゐる

倒閣は不可避と見
政友に人材內閣擁立の聲

【東京國通】政友首腦部は黒田問題で高橋藏相は晏如たり得ずその結果內閣崩潰も免れないが次期內閣は元老重臣がファッショ排擊や憲政常道論の立場にあるは樞府議長の更迭で分り輿論も大体政黨政治の復歸を希望する故中間內閣の出現を拒み我黨內閣の實現をさせ樣との結束を圖ると共に政民協定を促進せよ、政黨無視の內閣が出來れば斷乎として排擊し憲政擁護の運動を起せとの形勢を示して居るが黨內一部には今度の事件は政府部內の問題のみならず我黨代表の某閣僚や鈴木氏と關係深い前閣僚も危險だと言ふから我黨內閣といふよりは寧ろ宇垣氏、淸浦氏等を主とする人材內閣協力內閣へ對し善處せよとの意見もあり齋藤內閣は元老重臣の信任厚く一次官の起訴位で辭任はせず居据るべく世間期待の政變は起らずと冷靜なるものあり諸說區々である

大野課長他三名 起訴收容

【東京國通】既報、大藏省大野特別銀行課長以下三名は罪狀が明白となり、起訴處分に附され、廿日午後四時過ぎ市ケ谷刑務所に收容された

殷同氏南下

【北平廿日發國通】通車決定案を携行南下する豫定の殷同氏は廿日歸平して、許卓然氏と會合種々南方の狀勢を聽取する所あつたが二十日午後三時北平發南京に向ふ筈である

故濱口首相の女婿 相田氏遂に召喚さる
內閣へ火の手は益々擴がる

【東京國通】大野特別銀行課長の召喚の外に大藏省事務官豪銀、鮮銀監理官で故濱口雄幸氏の女婿相田岩夫氏は廿日午前九時、大藏省銀行檢查官補志戸本次朗氏は同九時十分夫々檢事局に召喚され黒田氏は檢事の取調べを受けた、大久保銀行局長の身邊も急と言はれて居る、大野課長は原嘉道氏の女婿で黒田氏の旨を受け帝人問題で帝人の便宜を强要し株買に成功せしめ大野課長は七千圓、相田監理官は五千圓、志戸本氏は數百圓の收賄を受けた外大野課長は帝人の株を受得したと觀られて居る

紛糾の政局をよそに 園公坐漁莊へ

【東京國通】二旬に亘り滯京中であつた西園寺公は緊迫せる政局を他所に、豫定の如く愈々廿日午前十時十五分東京驛發列車で退京し興津に向つたが當分の間坐漁莊に落付く筈である

大久保銀行局長も起訴を免れず 銀行局丸潰

【東京國通】某事件の進展に依る司直の追擊は愈々急に二十一日午前六時四十五分大藏省銀行局長大久保偵次氏は自宅より檢事局に召喚され、八木檢事の取調べを受けてゐるが、二十一日中に起訴收容を免れぬ形勢である、かくて銀行局は首腦部を失ひ潰滅の狀態を呈するに至り各方面に異常のショックを與へた

局長後任は 加藤監理官か

【東京國國】大久保銀行局長の起訴收容は最早や決定的となつたので全滅に陷つた銀行局の人事異動は急速に行はれるものと觀られ、銀行局長の後任としては日銀專任監理官加藤榮一郎氏が有力視されてゐる

聯盟理事會 議題何一つ解決せず

【ジュネーヴ十九日發國通】第七十九回聯盟理事會は十九日の會議を以て議事を打切り一旦休會することとなつた、來る三十日更に會議を續開する筈だが議題は未だ一つも片附いて居ない

早急總辭職は 非常時の責を負ふ所以でない
政府は頰被り主義

【東京國通】黒田問題が齋藤內閣の前途に一大暗影を投じたことは最早覆ふべからざる事實として一般から＝注視＝の的となつてゐるが、政府首腦部の意向は黒田氏の起訴を以て直ちに總辭職の擧に出づることは非常時局に處してゐる內閣としては却つて責任を全うする所以でなく、且つ黒田氏其他の起訴は相當根據あつてのことゝ觀られるが黒田氏は問題となつた議會中から召喚される前日まで高橋藏相に對し何等やましいことはないと言明してゐたので藏相も其の言明を信賴して居たものであり、召喚に際し事前に＝辭表＝を提出せしむることなく起訴と同時に休職處分に附したる點等から觀て事件の眞相が明瞭となる迄毀譽褒貶をよそにして頰被り主義で押通し除ろに成行きを靜觀しその間四圍の情勢と政局への影響とを愼重に考慮し然る後善處すべきであるとの意見が有力であるから特別緊急の事情が發生せざる限り、二十一日中に三長老の會合を開くが如きことはない模樣であるが、二十二日の定例閣議では問題が表面化した以上齋藤首相は直接監督者たる高橋藏相及び小山法相等より事件の概要に關して報告すべきことになるであらう、その際他の＝閣僚＝よりこれに關聯してその質問がないとも限らぬので豫め打合せをする必要もあるので恐らく閣議開會前齋藤首相は高橋藏相、山本內相の兩長老と會合して重要協議を爲すものと豫想されて居る

藤井局長は就任を受諾
持廻り閣議で正式發表せん

【東京國通】高橋藏相の命を受けた上塚參與官は二十日午前藤井主計局長を自邸に訪問黒田次官の休職に伴ふ後任次官としての就任方を正式交涉した結果、同氏はこれを受諾したので二十一日その手續きをとり同日中に持廻り閣議に附議し左の通り決定の筈である

任大藏次官　大藏省主計局長　藤井眞信

滿洲國郵政確立を 列國暗默裡に承認
關日本代表を迎へ當局者語る

國際聯盟に於て滿洲國通過郵便が問題となつてゐる折柄、萬國郵便會議に日本代表として列席せる關大阪遞信局長が會議を終へシベリア經由歸國の途新京に立寄りたるを機會に、新京記者團は廿日午後二時大和ホテルに於て同氏を始め藤原郵務司長、伊藤ハルビン郵政管理局長、川崎宣化司監察處長等を迎へ『滿洲國郵政の國際間に於る現狀』に就て左の如き說明を聽取した

藤原郵務司長　萬國郵便遞送料の淸算は三ケ年毎に行ふ規定になつてゐるので、滿洲國は一九三四年即ち今年の萬國郵便會議に備へるため昨年九月末萬國郵便聯合に對し遞送料淸算を提議した、之に對しノルエー、フインランド、カナダ等六ケ國より贊成の回答あつたが、其他の國からは回答なく、其後英國は去る一月國際聯盟に滿洲國の郵便取扱ひ[illegible]何にすべきやに就き提議したが、既にカイロに開かれた本年度の萬國郵便會議後五月十四日に至り漸く上程され、其結果郵政は人類の公器であるから、國家間の政治的取極めでなく當該機關の便宜處置に委ぬべきであると決定を見た、これは滿洲國郵政權の確立を各國が暗默に認められたものと言へやう、然し最後的決定は目下聯盟理事會に於て審議中である

關遞信局長　二月一日から三月末日に亘り開催されたるカイロ會議で滿洲國の郵便問題が議題になるであらうと準備して行つたが、同會議は技術的專門家の會議であるため政治的意味を持つ折衝は回避され遂に問題化しなかつた、支那側の保持する對滿郵政態度は的確には判らなかつたが、支那側は在スイス、在ポルトガル兩公使、聯盟支那事務官及同會議支那代表の四名を出席せしめ物々しい陣容であつたので、支那より同問題が提議されるかと思つてゐたが遂に何ごともなく意外であつた、恐らく彼等は當然日本よりの提案があるものと豫想し斯る陣容を整へて來たものと思ふ、私は公式には同問題につき語らなかつたが、滿洲國郵政の確立については非公式ではあるが機會をとらへて各國に對し認識を與へた、各國專門家の一般的意見としては現在滿洲國との間に何等の過ちも無く郵便事務が行はれて居るのに、遞送料金問題がそのまゝ放任されてゐるのは遺憾な事だとの意見であつた

伊藤監察處長　滿洲國郵政の現狀に對する正しい認識を與へるため昨年末より歐洲各國を約五ケ月に亘り巡歷し各當局者と會見したが何れも公式に同問題を議するを避け折衝には大いに困難を感じた、然し事實に於ては列國との支那發着郵便物が滿洲國を迂回して遞送される事によつて各國は日數に於て莫大な損害を蒙り、殊に甚しいのは英國で遂に同國はたまりかねて聯盟に提議するに至つたのであるが、思ひは各國共同じで、聯盟の不承認決議に拘束されてゐるものゝ何等かの方法で問題の解決を希望して居る

本年日本觀光客 米支が頭角

【東京國通】最近我國に來る外人數は激增し三月迄で早や三千二百三十名と言ふ多數に上り今年中には三萬人を突破するものと觀られて居る、中でも支那人とアメリカ人は斷然他を拔き、從來の風光觀賞より一步進んで「東洋の盟主日本とはどんな國か」と云ふて日本硏究に來る人や工業日本の觀察留學に來る人が多くなると言ふ新傾向を示して來たので「富士山」「日光」「藝者」等と風景一點張りだつた觀光局でも宣傳方法を轉換し日本精神、日本實業、日本美術宣傳に力瘤を入れる事となつた

有終の美を發揮の 日本選手凱旋
水陸兩競技に好成績を收めて

【マニラ二十日發國通】去る十二日以來九日間に亘つて開催された第十回極東大會は二十日水上競技を最終として閉幕した、この大會は後半に入り連日の雨に災ひされ甚だ興味をそいだ感があつたが惡コンデイションの中にも日本選手は大いに活躍有終の美を發揮した、殊にトラック、フイルド綜合競技の陸上二選手權並びに水上選手權は全部日本の手にし野球、庭球其の他のボールゲームにも優勝こそしなかつたが相當の成績を收めた大會終るや在留同胞は日本人クラブに於いて日本選手慰勞の晚餐會を開いた、斯くて日本選手一行は二十一日正午平洋丸でマニラ出帆歸途に就く事となつた

わが代表比島側へ 改造案提出
支那と大會を共にするを得ず

【マニラ二十日發國通】我代表部は憲法問題に就き松澤、阿部の兩氏はバルガス氏を訪問し夜九時から會議再開を要求し日本としては支那がかゝる態度に出た以上相共に極東大會を續け行くは不可能である故大會を解消し別個の競技大會を開催すとの改造案を提出し比島が萬一贊成せぬ場合は脫退する方針であるが出來るならば比島と共に改造案に邁進すべく工作中である

十種競技成績

【マニラ二十日發國通】陸上十種競技の結果左の如し

一等　メイ（比島）七、一〇六點九三五
二等　金木房雄（日本）六、七八二點七九
三等　齋辰雄（日本）

斯くて日本は綜合競技にも優勝した

水上第三日 日本全勝

【マニラ廿日發國通】水上競技第三日は水上日本の名を如實に示して各種目に新記錄を樹立して全勝した

□百米自由形決勝
一着　遊佐正憲（日本）五九秒八（極東新記錄）
二着　豐田久吉（日本）一分〇秒五
三着　坂上安太郎（日本）一分〇秒九
四着　高橋成夫（日本）一分一秒六

□千五百米自由形決勝
一着　牧野正藏（日本）一九分四五秒二
二着　本田惣一郎（日本）一九分四八秒
三着　北村久壽夫（日本）一九分五一秒
四着　石原田愿（日本）二〇分三九秒

□百米背泳決勝（三着迄何れも極東新記錄）
一着　河津憲太郎（日本）タイム不詳
二着　淸川正二（日本）
三着　入江稔夫（日本）
四着　明文一（日本）

陸上競技第四日 日本優勢

【マニラ廿日發國通】陸上競技第四日の廿日は午後三時半十種競技後半と四百米リレーを行つた

□四百米リレー決勝
一着　日本チーム（鈴木、谷口、阿武、吉岡）四二秒三
二着　比島チーム（ブンダベラ、デレオン、クリストバル、サラセド）
三着　支那チーム

得點　日本　一〇點　比島　六點　支那　四點

日比野球二回戰 日沒で引分

【マニラ廿日發國通】日本對比島野球第二回戰は午後三時半日本先攻で開始、2―2のスコアで補回戰に入つたが、遂に日沒のため引分となつた兩軍メンバー左の如し

比島	日本
(8)レイモンド	(4)林
(2)カンミロ	(8)桝
(7)サベロン	(3)永井
(8)リベラ	(1)菊谷
(9)エストラバ	(9)片田
(7)エチユム	(7)松井
(3)サンタローザ	(3)角田
(1)アルマンド	(2)手塚
(5)ペルナレス	(6)刈田

日支蹴球試合 日本惜敗

【マニラ廿日發國通】日本對支那蹴球は四對三で支那勝つ

日本　0―2　3―2　支那

滿洲國比島體協に 參加申込を發電

【マニラ廿日發國通】滿洲國は十九日夜バルガス氏宛に電報を以て大會參加方を申込んだ

人事往來

▲李紹康氏（北滿鐵路督辦）二十日午後三時二十五分着哈市から
▲ハイエ氏（獨逸商代表）二十日午後七時三十分着大連から
▲エヌ、エムドレーパー氏、（ゼ、テキサス、コンパニー奉天石油會社支店長）二十日午後十時發奉天へ
▲鹽原秘書官（關東廳）二十一日午前九時發旅順へ
▲染谷保藏氏（盛京時報社長兼本社代表）廿日夜哈爾賓へ二十二日午後歸來の豫定

團体

▲大阪女子師範學生百二十一名二十一日午後四時三十分發南行
▲大阪府會議員十名二十一日午後六時發吉林へ、同日午後四時歸京同日午後四時三十分發南行
▲福岡縣久留米商業學生六十六名二十一日午前六時來京同日午前八時三十分發哈市へ二十三日午前七時歸京同日午前十一時三十分發南行
▲大牟田商業學生七十名二十一日午後三時二十五分歸京太陽ホテル投宿二十二日午前十一時三十分發南行
▲衆議院議員十六名二十一日午後九時三十分來京東亞ホテル投宿
▲山口縣防府商業學生五十五名二十一日午前六時來京同日午後四時三十分發南行
▲撫順販賣所主催二十九名二十二日午前七時來京國都ホテル投宿二十三日午前六時二十分發南行
▲京都平安高等女學生三十五名二十二日午前六時來京太陽ホテル投宿二十三日午前十一時三十分發南行
▲大阪浪川學校長團十名二十二日午前七時來京同日午後零時三十分發吉林へ同日午後七時四十分歸京梅屋投宿二十三日午後四時三十分發南行

日滿悲曲 生命線を行く（上演上映）

國友雄吉　（荒川芳三郎畫）

（百七十六）

背後に光る眼

ちやうど、二人の話題にのぼつてゐるその楠本が、同じ箱根へ來て、自分たちの背後で、眼を光らしてゐやうとは、二人は、さすがに知らなかつた。

その楠本は、いま二人の位置とは、僅十間とは距たぬ處で、二人の上に監視の瞳を輝かして居るのであつた。

けだし、彼の役目も、重大骨折ではない。同じ福住旅館の、庭一つ隔てた座敷から、絶えず見張をして居なければならない。それも、反對に、伸一のために、ちよつとでも見られやうものなら、それこそ、此方の方で逃げ出してしまはなければならない弱味がある。

しかも彼が、自ら好んで、この役を買つて出たのは、やはり慾からであつた。

昨日「青柳」で、勝代の箱根行を探知すると、鬼の首でも取つた氣で、そのことを飛彥に急報した。

「兎に角、僕は大急ぎで箱根へ行きます。そして二人の行動を監視します。變つたことがあれば、すぐに電報をうちませう」

飛彥には、殆んど、否とも應とも言はせないで、彼は、そのまゝ、勝代を尾行したのであつた。

實をいふと、彼も最近、チチハルで、初めて彼女を知つてから、勝代に對して、滿更でもない考へを持つてゐたのであつた。けれども東京へ歸つて來て、飛彥が、彼女に夢中になつてゐることを知ると、戀の競爭では、到底勝算なしと見切りをつけ、早速、色氣の爲めに、勝代落籍の運動にまで乘り出したのは、所謂轉んでも只は起きない魂膽。

こんどの箱根行きだつて、すべて飛彥の懷を的にして、

「まゝよ、箱根の一流旅館に納まつて、ゆつくり骨休めをするのも惡くないぜ」といつた狡猾い考へも手傳つてゐるのだつた。

で、さつき伸一等が、散歩に出かけた樣子をみると、大急ぎで彼は、そのあとを尾けた。けれど、晝間のこと、彼は先づ自らを警戒せねばならなかつた。

帽子を眉に深、ブラリ／＼歩いて行く格好は、只の湯治客とより見えなかつた。

さうして、二人の方へだん／＼近づいて行くのであつたが、溪流のほとりで、二人が、話を始めると、さすがに、その話し聲の聞える位置にまで、身を晒すだけの勇氣は無かつた。

したがつて、いくら氣を揉んでみたところで、遂に二人の話の、片言隻語すら、聽き取ることができなかつたのだ。

で、彼は、失望しながら、一ト足先に、旅館へ引揚げて來た。

玄關の處で、女中に行き會ふと、

「お客さまでございます。お室で待つて居らつしやいますよ」といつた。

「お客さま――？」といつて考へたが、しかし、自分の箱根行を知つてゐる飛彥のほかに、誰も尋ねて來るものは無い筈であつた。

急いで、室へ來てみると、果してやはり、飛彥が來てゐたのである。

彼は、もう來てから可なり時間が經つてゐるとみえ、スツカリ宿の借衣に寛ろぎ、おまけに湯上りの、つや／＼した顏をして居つた。

「あ、おいでなさい！」

「やあ」

姉がそばに居るので、迂闊に下手な口はきけなかつた。二人は、目が物を言ひ合つて、つとめて、さり氣ない風を裝つたが、やがて姉が去ると、飛彥は待ちかねて、

「君、奴等、どこに居るのだ。どの室だ？」

「彼處！」と、楠本の指さした室が、ちき前で、あまりにも近かつたので、思はず目をみはつて、

「うむ、さうか――」といつたが、飛彥の眼は、もう嫉妬に燃えてゐる。

鏡泊學園に大匪賊 悲壯、十三名戰死す
山田總務以下枕を並べて けふ救援隊出動

敦化鏡泊學園事務所發新京鏡泊學園事務所着電によれば松乙溝鏡泊學園山田總務以下職員三名、同學生五名、日本守備兵五名、計十三名は寧古塔よりの歸途十七日北湖頭南方十キロ大廣嶺にて突如匪賊の襲撃を受け奮戰力戰せるも衆寡敵せず遂に全滅した、襲撃は計畫的にて壕を掘り自動車の顚覆を圖り銃眼より亂射せるものなり、十九日午後一時急報に接して松乙溝より日滿軍學生捜査のため出發、即夜より捜査の結果二十日午前三時春雨降る中に枕を並べて激戰のあと勇ましく無殘に戰死せる全員十三名の悲壯なる死體を發見した、本二十一日敦化より現地に向け日本軍救援隊出動す

山田君らの努力で今日の基礎
創設者の一人 堀切拓大教授語る

鏡泊學院創設者の一人で滿洲開發に專念しつゝある拓大教授堀切善文氏は語る

滿洲事變後、滿洲大學設立の議起り、鏡泊學院設立のため同志山田君が昭和七年四月渡滿在滿海軍部及び政府首腦部の聲援により今日の基礎を爲すに至つた、山田君自ら人柱となつたものである

同君は宮崎縣、都城の人、元北悌一と稱し東洋協會專門學校出身、故上原元帥の知遇を得てゐた

海軍記念日の催しもの決定
今年は一層明朗に

來る二十七日は、帝國にとつては忘れられぬ海軍記念日(二十九周年)に相當するので去る十八日駐滿海軍部で海軍側東主計中佐、山田少佐、滿鐵側稻葉、野村兩氏、海友會岩坂氏、長友會宮木氏などが集合し記念日當日の催し物につき協議左の如く決定した

一、事變も一段落を遂げた本年度は慰靈祭といふより寧ろ海軍記念祭典と稱して明朗な氣持でやること
一、記念講演
一、祝賀會
一、ラジオ放送
一、自動車による艦隊行進
一、ポスター宣傳

なほ前記催物の詳細は

▲記念祭典 お祭り氣分で明朗にやる當日午前十一時から西公園海軍記念碑前廣場で主催時局後援會、種事は社會係でなす、供物は花輪の如きものより寧ろ餅、酒、榊等

▲講演會 二十七日・前九時から十時まで商業學校で商業中學生徒に對して左近允中佐から(演題未定)室町小學校で室町、西廣場普通學校五年以上の兒童に東主計中佐から(同時刻)

▲映畫と講演の夕 西廣場小學校で午後七時三十分から在鄕軍人、一般市民のため(當日は小林少將も臨席の豫定)志摩大佐から講演あり

二十八日午後一時から女學校で婦人會、女學生のため講演、主催は時局後援會、

▲祝賀會 海軍協會、海友會 二十七日正午から西廣場小學校で會費五十錢主催は海軍、官民合同

▲自動車による艦隊行進 九時から十時まで市內を練り歩く

その他ラジオ放送などである

お芽出たい國際結婚
きのふ新京神社で

さきに一般にセンセーションを捲き起した入船町一丁目九番地牧野幸子(二二)孃と日本橋通り布路洋行支配パルスラム(三〇)氏―印度青年との結婚式は二十日午後三時から新京神社前で擧げられ午後六時三十分から賓宴樓で披露の宴を張つた

拳銃を放つて二人强盜逃ぐ
昨夜吉野町五丁目で

二十日午後十時三十五分ごろ吉野町五丁目五番地滿人吳服店天益興方へ二人組の拳銃强盜が客を裝ひ押入らんとしたが、同店夜警員が發見したので賊は驚き拳銃を發砲し逃走した、屆出に接した新京署では直に非常召集を行ひ倉田司法主任指揮の下に犯人捜査に努めたが逮捕するにいたらなかつた

イスラム信徒から 函館へ義捐金
國幣二千圓を贈る

新京イスラム協會では過般の函館火災に當り直ちに全滿の各教會及び協會に日本函館火災義捐金募集の檄をとばし義金募集中のところ、全國數千人の信徒から五錢、十錢と零細な應募があり、この程國幣二千圓に達し十九日各地から全部まとまつたので、新京イスラム協會長張仲三氏は二十日大使館を訪ひ寄附者の名簿と現金二千圓を出し、これが傳達方を依賴した

街の日記

大工道具 中屋の刃物

日本橋通り城內入口で大工道具一切を取扱ふ店中屋金物店八代目中屋傳右衞門を繼承する老舖で東京製の道具刃物で知られてゐる日下同店の刃物は五千余種の多數に達すが、東京の工場及越後三條の本場に於て生産し、中屋號を繼承する三十餘軒中の代表登錄傳右衞門だけあつて、關西に優る東京刃物の信用ある店販賣より研修理一切大量生産故破格の廉價とを俟ち評判よく建築業殷盛の新京としてよき店である

カフエー 美人座開業

東一條通り消防隊隣り元オリエンタルの跡に今度改裝の上二十一日華々しく開業した、カフエー美人座主人公の大平氏初め女給連も全部內地より今度來た方々揃綺麗ところは元より仲々モダンの御連中揃ひでサーヴイスも滿點、開業に當り二十日夕新聞記者始め關係筋を招待し披露宴を催したが場所は東一條カフエー街目貫であり相當新京雀を以て賑ふであろう

池水刑事部長榮轉

新京署で敏腕のきこゑ高かつた刑事部長池水喜一氏は拔擢され關東廳警務局高等課へ榮轉上海派遣員となり廿一日午後四時半發列車で赴任した

カフー組合 野遊會盛況

新京カフエー組合では二十一日午前十時から西公園海軍記念碑前で組合從業員慰安のため野遊會を催したが非常な盛會をきはめた

盜難屆

連浪町二丁目八番地村上清太郎氏所[illegible]一台を二十日午後四[illegible]西公園入口で窃取された

けふの銀相場

鈔票對金票	一一一、八五
現大洋對鈔票	一〇三、三〇
現大洋對金票	一〇六、一〇
國幣對金票	九四、九一

非支社員で 臨時廣告取り

山岸武夫といふ靑年が新京で月刊滿洲支社長その他いろいろな肩書をつけた名刺を種に惡事を働き其筋に捕へれたが新京の廣告取りに使つてゐるうち、素行が面白くないとの噂かあり、四月十五日に交渉を斷つたもので同社とは何の關係もないが、暫くでも同社に緣故のあつたものゝ不埒は申譯ないと社長城島氏は恐縮してゐる

小荷物拔取り
新京驛に盜難頻々 行李を開いて被害者吃驚

最近新京驛小荷物到着係で頻々として手小荷物の盜難事件が屆けられるので新京署では極力犯人捜査に努めてゐるが二十日またまた拔取事件があつた、市內梅ヶ枝町三丁目十番地大理石製作所瀧迫正造氏が去る十一日大連驛から柳行李を新京に送付した、十三日受取り二十日自宅で開けて見ると脊廣合服一着衣類外二點時價百圓余が拔き取られてゐるので新京署に屆出た

今年のプールは又もオジヤン
當局折角の努力も甲斐なく 肝腎の水なきため

一昨年以來入水も出來ず都市計劃の進捗とともに省みられなかつた西公園東隅中央通り脇のプールも修繕を施さなくては使用に耐へぬ程に古ひてゐたが、新京市民の痛切な叫ひを聽くに忍びず地方事務所關係者殊に野村社會主事などは四月早々から水道係土木係と折衝をなした結果、今年は六月の初めからは滿洲國側からも特に水の配給を得られるものと目鼻がついたので勢を得、今夏は遲くも六月中旬から開放すべく先づ社會係では希望と喜びをもつて直ちに詳細な理由書を本社に提出すると同時に修理費五千圓を申請し野村主事の如きは過般社員會評議員會に出席旁々本社經理課に膝詰談判に及んだ、その結果や漸く殆ど申請通りの修繕費許可を得るまでに至つたが、六月から補給出來る豫定であつた建設局の水源地工事が遲れると同時に內地へ注文してゐた數台の送水ポンプの到着が遲れ、七月二十日にしか設置が出來ぬなど、これ等不可抗力な事故のためこれまで折衝發展したプールの水入れも如何せん不可能となつたこれがため當局では今年の入水不可は巳むを得ずとして來年の新設プール(公園內)事業費として申請したい意嚮である

滿鐵社員軟式野球
第一日

滿鐵社員會の春季軟式野球大會は二十日午前十時から檢車區對列車區の試合が行はれた試合職績は左の如くである

午前十時(室町校)

檢先	0010010	2
列	0000000	0

午前十一時三十分

機關先	0013100003	8
保線	1400000000	5

午後二時(コールドゲーム)

鐵路先	100002	3
保安	100310	5

三井勝つ
對需用處野球戰

新京三井對滿洲國需用處の野球戰は二十日午前十時より新京普通學校々庭に開催十對九で三井勝つ、メンバー次の如し

アンパイヤー 球 岸本 壘 伊藤

三井メンバー

1	投手	北島
2	三	田口
3	遊	岸本
4	捕	加藤
5	中	山本
6	一	太田
7	右	赤津
8	二	松浦
9	左	梅澤

需用所メンバー

1	一	阿部
2	捕	萬田
3	三	菅井
4	遊	柳原
5	投	中村
6	右	原
7	左	政元
8	中	勢
9	二	黑川

共産黨最後の斷末魔
内部抗爭が生んで 慘虐極まるテロ行爲
リンチ事件けふ解禁

【東京國通】インテリ派と非インテリ派對立、社會的情勢による黨活動力の減退、當局の嚴重な彈壓等によつて手足をもがれた觀のあつた共産黨が、最後のあがきとして演じた同志相食むリンチ事件は、去る一月十五日夕刻目黑區下目黑三ノ六三七所在の空家で黨中央委員大泉兼藏にリンチを加へんとして居た所を、通りかゝつた鳥居坂署墳本巡査に發見されたのが端緒となつて、内部抗爭による慘虐極まるテロ行爲が白日の下にさらけ出されたので、警視廳特高課は去る一月廿一日內務省、檢事局と協議の上記事揭載を禁じて一齊檢擧を斷行し、その總檢擧數は七百卅六名に上り、此程取調べも一段落を告げたので、廿一日正午記事解除となつた、今回の所謂リンチ共産黨事件は、彼等が同志間の疑心暗鬼から、プロバカートル(裏切者)の名によつてリンチ決行者が、廻り廻つてリンチを受ける立場となる等恰も被害妄想狂の如き感を與へ、大正十一年以來命脈を保つて來た日本共産黨最後の斷末魔と見られて居る

加害者が次の被害者

【東京國通】同志相食むリンチ事件關係者の一覽表を揭げて見ると袴田、高橋、木島等の如く加害者と被害者を兼ねて居る者もあり全く昨日は人の身、けふはわが身の彼等であつた

加害者側

中央委員	宮本顯治
同	木島隆明
中央委員長	逸見重雄
中央委員	秋笹正之輔
同	袴田里見
同	谷川巖
中央印刷局長	西澤隆二
同局員	田中實
同	田中鶴子
同	高橋善次郎
東京市委員長	水上みし
江東地區キャップ	加藤亮
江東地區委員	林鐘南
秋笹のハウスキーパー	木俣鈴子
木島のハウスキーパー	横山操
西澤のハウスキーパー	森井篤子
中央部レポーター	淸水綾子
中央財政部副キャップ	富士谷眞之助
帝大細胞長	牧瀨恒二
江東地區黨員	元容駿
同	朴思誓
同	李昌鼎
同	梁泰成
牧瀨のハウスキーパー	河田ユキ

被害者側

中央委員	大泉兼藏
中央財政部長	小畑達夫
同部員	大澤武男
中央印刷局員	大串雅美
大泉のハウスキーパー	熊澤光子
黨江東地區委員	波多然
印刷局長	西澤隆二
印刷局員	高橋善次郎
全協委員長	小高保
黨中央委員	木島隆明
同	袴田里見

戰慄すべきリンチの全貌

【東京國通】中央部に對する計畫的彈壓は大泉、小畑等のスパイ的行動によるものであると斷じた宮本一派の赤色リンチ團は愈々其の實行に移り慘忍な手段に出た

第一リンチ

昨年十二月廿一日秋笹正之輔はハウスキーパー木俣鈴子と共に澁谷區幡ヶ谷本町二の二〇七黑石彌吉所有の三階建一戸を借受けて用意し同月廿三日午前十一時黨中央部の會合を開くと稱して大泉兼藏、小畑達夫の兩名を淺草區馬道一の四の二三汁粉屋下總屋こと關口りの方に呼ひ寄せ、宮本顯治は小畑を、逸見重雄は大泉を夫々別の自動車に乘せて幡ヶ谷本町のアジトに赴き、逸見は途中廻り道をして正午近く到着した、此のリンチの家には秋笹正之輔、木島隆明木俣鈴子、横山みさほ等が憎惡の眼を以て待ち構へ、先着の小畑に對し秋笹が「貴樣等はスパイだ」となぐつたので激論となり秋笹は最後の手段としてピストルを突きつけ兩手兩足を縛つて猿ぐつわをはめ眼隱しをして押入れに投込んだ、續いて大泉は逸見の指圖によつて二階に上り八疊の間に入ると宮本が突然大泉の背後から左手を廻してオーバーの右襟をつかんで後に引き寄せて首を絞め「査問するから靜にしろ」と命し木島は大型ピストルを秋笹は出刃庖丁を持つて大泉に突きつけ、「ジタバタすると打つぞ」と脅迫し宮本は首を絞めた儘大泉を座らせ、秋笹、木島の兩名は針金で兩足を縛つて眼隱しし猿ぐつわをはめた上棍棒で頭部其他を亂打し氣絶するのを見て押入れに投げ込み再び小畑を引き出して救命を哀訴嘆願するのを尻目にかけて股をキリであぐり硫酸を浴ひせ人間業と思へぬ慘虐さを以て殺害し床下に埋めた一方大泉は二十四日午後八時頃蘇生したので更に暴行を加へられ木島から「どうだ殺される方がよいか、スパイを承認するか」と最後の返答を求められたので堪え兼ねて大泉は自殺を申出でたところ秋笹、木島の兩名は大泉及び廿三日夜甘言を以て呼ひ出し監禁して置いた大泉のハウスキパー熊澤光子に對し、「黨の爲に都合のよい遺書を認めるならば」といふ條件付で表面自殺を承認し再三再四遺書を檢閱書き替へさせた後縊死を裝はせて殺害することにし一月十五日午後十時半頃木島林鐘南、加藤亮の三名が監視して自動車で目黑區下目黑三ノ六三七に借り受けてあるアジトに連れ込み、十五日夜殺害すべく横山みさほがピストルで脅迫し乍ら看視中十五日午後三時頃鳥居坂署の墳本巡査が發見したものである

第二リンチ

昨年六月十五日以來赤旗印刷所責任者田端本四郎及び中央印刷局長松川七郎(故松川大將の息)外十五名が檢擧されたので續いて十月廿七日印刷所十六ヶ所が一齊檢擧されたので宮本一味は中央印刷局副責任者大串雅美(二九)にスパイの嫌疑をかけ當時の中央印刷局長西澤隆二は宮本の指令に依つて十二月廿一日午後三時頃から赤坂區臺町二六黨中央秘密鉛板所東京工業大學助手田中實方で田中夫妻女中の水上みし、アジト係高橋善次郎等と共に中央印刷部會を開きリンチの方法について協議した結果、午後四時半頃西澤、高橋は印刷すると稱して同家地下室の秘密鉛板所に大串を連れこみ田中實の妻鶴子、女中水上みしを見張りとして西澤は大型ピストルを突きつけ、「スパイを自白しろ」と脅迫し麻繩で兩手を縛り其他を亂打して暴行の限りを盡した上其儘五尺四方の地下室に入日監禁して高橋が看守の責任者となつて居たが、大串は午前二時頃隙を窺つて地下室出口の戸を押破つて逃走、警視廳に自首して出た、そこで特高課の片岡警部補の一隊が田中方を襲つたが既にも拔けの殻で警官隊を口惜しがらせた

第三リンチ

血祭にあげられた中央財政部長小畑達夫から信賴され黨內對立問題に關して勞働者側に加擔し後の殺害に極力反對した中央財政部員荒木こと大澤武男に對し機會あらば同人を陷れてその後任たらんとして居た中央財政部員水島こと富士谷眞之助は彼をプロバカートルとして上申した、宮本はこれを承認し木島隆明に計畫させた、木島は帝大細胞キャップ牧瀨恒二に命じて豐島區池袋二ノ九二〇に一戸を借り受けさせ準備を濟ました上一月十二日富士谷の手引により大澤を同所に連れ込み木島、牧瀨、富士谷の三名で細紐で手足を縛し木島はローヤル式ピストルを突きつけて反抗を抑制し富士谷は背後から金槌で全身を亂打してプロバカートルたる事を承認させんとして連日連夜暴行を繼續したがその實證が現れないので、加害者側から妥協的態度に出で「上部の命令でやつたのだから君の處分に就て吾々は君の顏に燒火箸でスパイと書いて釋放した樣に報告するから君その心算でスパイを承認した樣な書面を書け」と命し、二月十七日早朝誓約書を書かせ監禁を解除した、その際富士谷は大澤の所持して居た現金三百圓を取り上げて秋笹に渡した

第四リンチ

江東地區委員吉田こと波多然は反帝同盟組織部長久保健二の推薦でその地位を獲得したものであるが久保が所在不明となつてプロバカートルの疑をかけられるに至つた、そこで推薦者がスパイであれば推薦された者もスパイであるといふ彼等一流の論法によつて波多に對するリンチが計畫され木島は秋笹の指令によつて一月十五日葛飾區下小松町五四七に山口健三名義で平家建一戸を借り受け、東京市委員長江東地區キャップ加藤亮の手引で一月十七日波多を連れ込み、木島、加藤、鮮人某の三名が帶で手足を縛り連日監禁暴行の上査問したが之又スパイたるの實證を擧げるに至らなかつた、ところが上部でスパイと認めたものを査問の結果スパイでないと報告すれば今度は自分等がスパイとしてリンチを受ける立場となるので處置に窮してゐたところ二月十日加藤が檢擧されたので現場の發覺を恐れ前回の大澤に對すると同樣誓約書を書かせて釋放した

釋尊降誕の意義（三）

新京佛教會金剛寺　利光智玉

此等の道德の實行は必ずしも個人的のものでなく實社會的であり彼岸的でなくて現世的であります、斯る德行家に歸依し卽ち社會がその道德的進步の爲めにかゝる團体を維持扶養したのは當然の事と思ふその團体の行爲が社會を淸め社會を導いた事も明であります

×　×

勿論後世の佛教は直に或は祭祀的に宗教的に或は哲學的になつたのも事實であるが尙依然として道德的な事が基礎でありそこに意義を置かれた事に間違ひないのであります人生々活完成の三面ある中に於て佛の道德主義がどういふ關係にあるかは更に評論せねばなりませぬが、少なくとも道德的であつたといふ事に間違ひなく、また明な一の特徵となつて居るのであり今の世にも反省ずべき第一義であると考へられるのであります

二、相對主義

八正道の第一は正見或は正信でありまず正信とは何であるか概言すれば正して佛の自覺を信じ佛教の信念に徹することで佛教徒の見識をもつといふ事であります、それでは佛教徒的見識とは何であるかと言はゞ相對主義であると言へるのであります

佛は苦脫を目的としてそれに達せられたのであるが事實現實の實相を正直に見るものに取つては世界は苦であるといふより外に言ひようはない然るに諸種の苦を反省するにそれには根據が無くてはならない苦は渴愛と走つて求めて止まざる欲求がある爲めに起るのであるこの欲求は制することが出來る人間の完成は全くこの欲求の制滅によつて得られるのである而もこの方法は八正道の中道によるべきであると言はれる、この場合に苦の因を求めて絕對的なるものの存在に求めなかつた所に佛の特徵があるのである苦の因に絕對的のものがないと同樣に樂の因にも絕對的のものがない、また換言すれば絕對的なものがあるならば事實苦もなく樂もないと言はなければならぬのであります苦の事實的存在は絕對的なる創造神とか靈魂とかいふものの存在しない直證であると言つてもよいのであります

×　×

事實我々の生活に於て絕對的のものは觀念の遊戲に過ぎずしてこれが利益を爲すとは考へられず却つて多くの弊害をと考へられるのである現象の裡にある我々の心身に於ても我々と他人とのに間於ても凡て相對的の世界が只それのみが事實的にあるのでありますたとへば我と云へば相對的に彼と關聯し心と云へば直ちに身と相對するその相對がもたらす苦痛の世界をその苦痛のたゞ中にあつて而も超越するのが樂であり聖となつた證據ともなるのであります

子供を教へるには讀むより繪で

お母さま方へ御注意のこと

▲讀むよりも書で見た方が幼兒は早分りするものであります、それを利用して色々な書を目の付き易い所に掛けて置いてやることは確に効果があると思ひます

▲……書はクレヨンで凡て子供の好きさうな色を使ひ果物着物から光線等に至るまで原物の色を使ふのです

これらの書を一つの紙に澤山書き込んで掛けてをくのです子供はカンタンな此等の書に對して非常な喜びをもつて色々質問します、それをわかり易く說明すればよろしいのです、これは非常に子供の教育になると思ひます

忠靈塔建設費募集

帝國の生命線確保滿洲國建設の大業に殪れた幾多忠勇なる英靈を慰め且つ其功績を永遠に記念し滿洲の護りたらしめんため新京、哈爾賓、齊々哈爾、承德の四個所に大忠靈塔建設の議成り關東軍司令部内に忠靈顯彰會を設置し汎く淨財を募集中であり當社に於ても右寄附金受理を取扱つて居ります、當社扱ひの寄附者芳名は紙上發表、改めて忠靈顯彰會から受領證と感謝狀が送られます、期限は今月末限りです各位の熱誠なる御贊助を切望致します

新京日日新聞社

本社特選　名士圍碁對局（十九）

互先先番　三目勝　醫學博士東雲會總裁　二段格　永峰勝市
聯珠八段關東聯珠社々長　四段格　小島力次郎

●百八五 り十一　○百八六 ち十一　●百八七 わ十五　○百八八 わ十六　●百八九 と四　○百九十 と三　●百九一 い七　○百九二 れ十三　●百九三 そ十三　○百九四 れ十六　●百九五 そ十六

本日●百八五より●百九五まで（黑 三目勝）

審査會槪評

黑七、九は古い定石で戰法である。黑十三は白の戰略を外す意味で、之を六五の眼隅に據るも面白い。白五十は江一に伸びる手であるが、白百六は百二十八に備へたい。勝の如く黑百十一以下の戰略を許す事となつては小さいながら勝算は黑に歸られた。本局は大體に於いて兩者共に矢繼の鋭い局面であつた。白は戰犬に備へて進めば、黑は終始細部に備へてあせらず、遂に精緻な終局を見るに至つたものである。

短い斷髮にカモジの入れ方

△短い斷髮は每朝ブラッシをかけるだけでアイロンのわずらはしさがなくて、忙しい方には大變都合がよいですけれど盛裝する場合長いスカートには頭が少し寂しすぎます

△…こんな場合には、とりはづしの自由なカールの付いたカモジを作つたらどうかと思ひます

カモジの端に色の付いたリボンを付けて前に結ぶやうに致します、こんなこと一寸したことですが、華やかな盛裝とつり合ひがとれて非常におとなしくみへるものです

新刊紹介

少女手藝ニュース

◇近頃は、少女手藝の方面にも種々斬新なものが工夫されて來て、少女達に大歡迎を受けてゐますがこれは大變結構なことと思はれます

◇仲でも漫畫の大流行と共に、漫畫の面白味を取入れた手藝品が殊に流行の勢を示して居りますが、この新傾向を敎へて目下、少女間に非常な人氣を得てゐるのは、少女俱樂部の手藝欄です

◇同誌六月號では、やさしいお人形手藝といふ項目のもとに「サッチャン人形」と「お人形の針箱」などを紹介してゐますがこれは同誌に連載され、少女間に大人氣の漫畫の主人公、サッチャンをあしらつたもの、誠に目新しく面白味のある作品で大人の方にまで大變喜ばれるやうです

◇漫畫といへば、本誌別册附錄もお馴染の田河水泡氏の漫畫本「サッチャンとモンチヤン」これがまた大變美しい上に朗かで、ニコニコお孃さん方の大評判になつてゐます

ラヂオ

二十二日（火曜）新京

時刻	番組
午前一一時四〇分	ニュース（日滿兩語）
同 一一時五九分	時報
午後 〇時 五分	滿洲音樂レコード
同 一時 〇分	演藝（滿語）
同 三時二〇分	ニュース（日滿兩語）
同 三時三〇分	經濟市況（奉天ヨリ日滿兩語）
同 四時三〇分	ニュース（滿語）
同 四時四〇分	ニュース（鮮語）
同 四時五〇分	ニュース（英語）
同 五時〇分	子供の時間
同 五時三〇分	時事解說（滿語）
同 五時五五分	氣象豫報 番組予告（滿語）
同 六時 〇分	ニュース（東京ヨリ）
同 六時二〇分	滿語講座 講師 高宮盛逸
同 六時四〇分	日語講座 講師 積松金枝

舊紙幣の回收

八七、二パーセント

回收滿期後も一ケ年間兌換

滿洲國舊紙幣の回收は順調に進捗し、十六日現在既に一億二千四百九十五萬九百圓五角に達し、舊紙幣總額一億四千九百廿三萬四千九百八十一圓に對し實に八十七、二％といふ好成績を示し、殘額僅かに一千八百十三萬八千九百八十圓五角となり舊紙幣回收滿期たる六月卅日までには尠く共九十四乃至九十五％の回收を完了するものと觀測され、玆に名實共に幣制統一の大業を完成ずる事となつたが、財政部當局に於ては法定期間滿了後に於る回收未濟舊紙幣處置に關し一般民衆の利益を考慮して一個年程度の期間を限り中銀に於て兌換すべく目下具体案作成を急いでゐる

東滿人絹パルプ

下村專務談

【大連國通】去る五月一日東京に於て創立總會を終つた日滿合辦の東滿洲人絹パルプ會社專務下村純二氏、同社員富田治彦氏は十九日ばいかる丸で來連したが語る

東滿洲人絹パルプ會社創立に關し巷間傳へられる經緯はデマに過ぎません、當社は日滿合辦の投資會社であつて先づ手初めにパルプの生産をはじめ、續いて人絹の製造に移るつもりです、これから新京に行つて日滿出資の割合等を協議しますが工場を何處に造るか未だ決定してゐません

尙下村氏は前樺工重役で日本パルプ工業の權威である

つた狀態で、日本側の動きに對して悉く神經を尖らしてゐるやうだ

滿洲炭坑設立披露宴

席上十河理事長は語る

【大連國通】滿洲炭坑株式會社設立披露のため十九日午後六時半からヤマトホテルに於いて小川市長、林滿鐵總裁、高柳將軍その他各新聞社長、商議會頭等日滿官民百餘名を招待し、席上十河理事長より同會社設立までの經緯を述べた後「石炭は滿洲の資源中最も惠まれたるものの一つであり且つ各種産業開發に必要なるものであるから安價な石炭を供給したいと云ふのが本會社の使命である」と述べ小川市長の謝辭あり懇談を交へて九時散會した

現在の鹽田で

七億斤の生産は可能

矚望さるゝ滿洲の製鹽業

日滿經濟ブロックは先づ鹽よりといふ譯で本年度は一億五千萬斤の鹽を滿洲國より日本へ供給することになつてゐるが、將來は益々其必要に應じ需給の圓滑を圖る可能性は十分認められてゐる、即ち現在滿洲國內鹽生産高は五億斤に餘り、之が國內消費は現在約三億七千萬斤に止まり貯鹽六億斤を有してゐるが、目下縮限してゐる鹽田の能率を伸張し停晒（休業）してゐる鹽田を復活せしむる時は優に七億斤の生産は可能である、尙今後新に鹽田を開拓する場所は極めて多く、滿洲の製鹽業が非常に矚望されてゐることは凡そ周知の事實である

因に大同二年末現在の鹽田面積（停晒鹽田も含む）並に製鹽業者數は左の通りである

場務局	鹽田面積（畝）	製鹽業者數
營蓋	二〇、五三三	三三四
復縣	七二、一二四	三三六
莊河	二七、三三五	一九〇
錦縣	七、一六六	一〇七
盤山	一、五八二	一三〇
興綏	三、九三六	一三八
計	一三二、六六八	一、二三五

北支を視察

大淵滿鐵理事談

【大連國通】北支視察旅行の滿鐵理事大淵三樹氏は二十日正午大連入港の「天津丸」で歸連したが語る

奉山、北寧兩線の接續狀態を見度いと思つて山海關經由で北平に行つた、北支の日本側出先機關はうまく協調を保つてやつて居る、支那側の人心は依然不安といふ

中國銀公司問題を

宋、極力辯明

【上海二十日發國通】西北視察の旅を了へて上海に歸來した宋子文氏は十九日支那側記者との會見で左の如き要旨の談話をなした

約一ケ月に亘り陝西、甘肅西海、以下四省を視察したが大体感想は軍政兩方面とも良好であつた、ただ阿片の害と幣制の紊亂は相當甚だしきものがあつた阿片の害毒は邊境に近づく程ひどい、寧夏で二三ケ村を視察したが村民中回敎徒は敎律で阿片を用ひず全部が富んで居たが漢人は一人として中毒者ならざるは無く慘狀を呈して居た、西北開發についても今回の視察によつて得た所を參酌し案の修正を行ひ全國經濟委員會常務委員會に提出、實行に着手する、豫算二百五十萬元は充分ではないが各省當局が協力してやつて行く筈である

次いで宋子文氏は最近外交關係に於いて相當重大問題を起して居る中國銀公司建設につき左の如く語つた

最近成立を見る銀公司は純然たる商業的性質のもので同公司の資本金は支那側の投資により絕對に外資の參加を求めない、モネー氏が外資を歡迎する旨語つたそうだが何かの間違いだらう將來成立後外國と商賣上の往來はあらうが現在或種の背景を以て成立すると言ふのは誣謗も甚だしい、ライヒマン氏の再任については何も聞いて居ない

フォード

支那に進出

【上海廿日發國通】駐支米國フォード自動車會社代表は豫て支那に米支合辦の自動車製作會社組織につき實業部と商議中であつたが此程交渉成立十八日契約書に調印を了した右契約によると新會社の資本總額は六百萬元（二百萬元實業部負擔四百萬元フォード負擔）工場は上海浦東に建設されるものである

青木中佐等寄連

【大連國通】陸軍省軍務局青木中佐岡崎主計正は滿洲より北支那視察中であつたが、廿日天津丸で來連した、廿一日出帆の「ばいかる丸」で歸京の筈である

西南方面牽制の爲

討共軍を進む

共産軍防禦陣構築

【福州十九日發國通】蔣介石は西南牽制上福建西部方面の共産軍討伐の進展を圖るため東路剿匪總司令蔣鼎文に對し各軍を總動員して七月以前に共産軍の本據長汀を奪取すべしと嚴命した、蔣鼎文は十八日漳州より龍巖に移ると共に宋稀を永安、湯恩伯を建寧方面に派遣して前線の指揮を命じたが同方面の共産軍は歸化淸流、連城の西に堅固な防禦陣を構築討伐軍の來襲に備へてゐる

正金銀行辭令

【東京國通】

青島支店副支配人　長尾隆治

命長崎正金支店詰

上海支店支配人代理　本間淸兵衞

命青島支店副支配人

落札工事

▲新京衞戍病院東側道路築造（地方事務所）二、〇九六圓一〇田中組

▲野戰航空廠發動機手入場その他（關東軍經理部）七一、〇〇〇圓大林組

▲第二次市營住宅用煉瓦運搬工事（市政公署）六二五圓隆慶公司

▲需用處警察派出所新築（需用處）一、九四四圓碇山組

新京を中心とした綜合經濟情況（五）

滿洲事情案內所調査

製粉業　當地に於ける斯業は大正二年六月鐵嶺に本社を有する滿洲製粉會社が當地に分工場を設けたのを嚆矢として、恰も歐洲大戰勃發に際し輸入品杜絕に依つて俄然活況を呈し、次々に製粉工場が設立せられ、豐富な原料と無限の消費とを控へて遂に南滿第一の企業地として將來を囑目されてゐた、即ち大正九年には天興福、同十年には雙和棧同十二年には益發合の創業を見、其他寛城子にも亞洲興業東倫、同源三工場が設立せられた、然るに其の後滿洲に於ける原料小麥は未曾有の不作を來し、又哈爾濱斯業の發達を計るための北滿鐵道の運賃政策及安價なカナダ粉の侵入加之戰後の不況襲來するに及んで、當地に於ける斯業は黃金時代より逆轉して不況に沈淪するの已むなきに至り、東信、同源は消失、亞洲興業、滿洲製粉は休業、雙和棧は破產し現在は裕昌源、益發合（目下休止中）福順厚、天興福の四工場のみで、その一日の生産能力は四工場合計約四十萬斤である

尙當地には小麥を原料とする製粉工場の外に約三〇〇の玉蜀黍製粉工場があるがこれには石臼石磨を騾馬に曳かしめる舊式工場と機械力を用ふる新式工場の二者がある、前者一日の製粉能力は約二百斤見當であつて、後者は其の能力前者に比して稍好く、逐年增加の傾向にあるが何れも未だ地元供給の範圍を脫しない然し本業の將來は相當有望性を有つてゐる

精米業

新京に於ける精米業の發達は比較的近年に屬し、何れも大正十年以後の創業に係る、當地が背後地產の籾の集散中心地である關係上斯業の勃興を見たのであつて、現在斯業者數は千葉商店、日鮮精米所日隆號精米所を筆頭に內地人五、朝鮮人五、內鮮合同一、滿洲人二、計十三軒に達する

元來原料籾の出廻期は多季の極めて短期間に限られ、各工場は該出廻期間中間歇的操業を爲すに過ぎない現狀である、若し操業期間を延長せんとすれば勢ひ多量のストックを爲すを要し、從つて多額の資金を要する結果現在當地各工場の小資本を以つては充分な業績を擧げ得ない、加ふるに最近籾の出廻量一箇年約十萬石であつて、之に對し目下斯業者は寧ろ多きに失し、常に原料の不足を來してゐる

而して精米技術上當地斯業者の不便とする所は、北滿の地が內地と異り、耕作期間短く水分不充分な爲日本內地籾に比して品質脆弱で精米機にかけるに當り、割米を生ずる虞あるのと、京圖、北鐵等の出廻地毎に耕作氣候等の關係上原料籾の品質が異る點である、然し將來水田の增加、品種の改良等により、これ等の缺點は次第に除かれるものと見て差支なからう

尙當地には精米業の外に粟精穀業があるが、專業者は僅に新興公司一軒で、他に二、三軒の兼業者があるのみである

釀造業

當地に於ける斯業としては醬油、味噌釀造業及滿洲側燒酎及老酒釀造業を數ふるのみで、和洋酒、麥酒等は悉く輸移入に仰いでゐる現狀であつたが、現在では既に日本酒釀造の勃興をみてゐる

海外經濟

▲銀塊及爲替

倫敦銀塊	一九片一六分九
同　遠限	一九片八分五
孟買銀塊	五三留比一〇分三
紐育銀塊	四五仙〇〇〇
米英爲替	五弗一〇仙八分七
米日爲替	三〇弗三七仙
米支爲替	三三弗三五仙
スチール株	四三弗八分五
アナゴンダ株	一五弗〇〇

▲米棉

現物	一一仙六五
六月限	一一仙四一
八月限	一一仙四九
十月限	一一仙六六
十二月限	一一仙七九
三月限	一一仙八四
五月限	一一仙九三

▲大連金鈔票

現物	一二〇五〇	一二一九〇
近限	（先限）	
寄付	一二一九〇〇	
歩値	一八五〇	
引	一九二五	
止	二〇一五〇	
高値	二一〇	
安値	二〇七五	
出	二〇〇〇	

▲大連上海向　九七六〇〇　七三萬　一八五〇　二一〇〇

▲大連煙台向　九七二〇〇

各地市場

▲阪神日米爲替

第一回	一三五	三四弗一分一
	一四〇	三四弗八分五

▲大阪株式

大株	一三一九〇	一三〇四〇
大新	一三一三〇	一三一八〇
鐘紡新	一三六七〇	一三六八〇
同新	一三〇〇〇	一三九八〇

▲同短期

大新	一三一九〇	一三六九〇
鐘新	一三九五〇	‖
東新	一六九〇〇	‖
日產	一三三五〇	一三〇八〇

▲大連株式

五品	二六三〇	二六三〇
先限	二六二〇	二六二〇

▲大阪三品

當限	二一五〇〇	二一五六〇
六月限	二一四四〇	二一四一〇
七月限	二一〇一〇	二〇九七〇
八月限	二〇六〇〇	二〇六一〇
九月限	二〇三六〇	二〇三六〇
十月限	二〇一〇〇	二〇〇三〇
先限	一九九五〇	一九九〇〇

▲大阪棉花

當限	七七〇	七七六〇
先限	五九〇五	五九〇〇

▲大阪期米

當限	二五三三	二五三四
中限	二五七六	二五七八
先限	二六一六	二六一四

▲仁川期米

當限	‖	‖
中限	二三一〇	二三〇五
先限	二三三〇	二三三五

▲橫濱生糸

現物	五三五〇〇	五三五〇〇
當限	五三六〇〇	五三六〇〇
先限	五四五〇〇	五四四〇〇

▲神戶豆粕

五月限	二二三	二二三
六月限	二二五	二二五

▲大連特產

カルカッタ麻袋	二六留比一六分三
靑筋	三三留比二分二
鐵筋	九七留比四分一
爲替	
現物 麻袋	三七〇厘

	寄	引
大豆 袋込	三六一	三六八
五月限	三六四	三六六
六月限	三六六	三六六
七月限	三六八	三六八
八月限	三七一	三七一
九月限	三七三	三七三
豆粕 現物	一三〇五	一三〇五
六月限	一三〇五	一三〇〇
豆油 現物	九二〇	九二〇
六月限	九二〇	九二〇
高粱 現物	一七六	一七七
五月限	一七八	一七七
六月限	‖	‖
七月限	‖	‖
八月限	一九〇	一九〇
九月限	一九三	一九一

新京市況

	現物	出來高
特產 大豆	六〇	一車
高粱	五四〇	二車
小豆	六〇	一車
錢鈔 金票對鈔票		一二一、六五
現大洋對鈔票		一〇七、三〇
現大洋對金票		一〇六、一〇
國幣對金票		九五、九二

江戶役者と御殿女中

新版江戶八景（其上映）

行友李風氏原作　籠鍍平他二氏畫

五一　行友李風

「しかし……」

と、與兵衞は急に思ひついたやうに。

「按摩の方は、それでかたづくとして、そのお前さんからたのんでもらふお人のことだが、そのお人が、また、こいつを種に、わしのとへ座り込んだり、また、訴へ出たりするやうなことはあるまいかね――」

「いや、その點は、どうか、御安心なすつて。……あつしが引うけましたからには、決して、旦那からたのまれたの、なんのと、そ百なことは、これつぱしもいつてりません。――まあ、どつかのそのからたのまれたんだが、……」

「さうかな。――では、どの位出したらいゝものだらう」

「さようで。――まづ、二百兩――事によつたら、三百兩といひ出すかも知れませんが……」

「なに？三百兩――」

與兵衞は、目をまるくして。

「いや、それは高い――せいぜい、二百兩位ならば、……と思ふが……」

「さようで、――まあ、せいぜいその位のところでまとめるやうにかけあつてみませう――」

「ぜひ、さうして下さい。――いさつきもいつたやうに、あの按摩には五百兩とられたので、實をいへば、二百兩も、ちよつと痛い位なんだ――」

「御冗談で、――旦那程の身代で、そんなことが……」

「いや、どうして〳〵」

〳〵、そこのところはあいまいに、しかたづけてをきますから……」

「さうか。――いや、さうしてもらへれば、助かります。お互にも――」

「まつたくで――」

牛六は、にやりと、づるさうなわらひを浮べて。

「しかし、こんなことをたのむからにや、ちよつと、まとまつた金を、やらなけりやならねえと思ひますが……」

「いや、それは呑み込んでゐる――」

「さようで。――ところで、先方にかけ合ふには、いくら〳〵の金をやるといはなけりやなりませんから……いつたい、どの位の金をお出しなさるおつもりで、……ちよつと、おきかせが願ひたいのですがな――」

「さうぢやな。――百兩……ではどうだらう」

「さあ、――何しろ、人一人殺すんですからな。そいつは、少しいかがでせうか――」

「それでは、さういふことにしてかけあつてめえりますが……あし、それで、承諾したときは、前金に半分、――万事仕上げたあとで、半分といふことにして來やうと思ひますが……」

「いや、それでいゝでせう」

「では、明日にもかけあつてめえりますが、……さう〳〵、その按摩は、麴町のどこでしたかな」

「平河町だ――」

「なるほど、――名前は……」

「宗の市とかいつてゐました」

「なるほど。――平河町の宗の市ですな。――ようござんす。一つ、そのかけあひにゆくまへに、わつしが、その按摩の家がどこか探してをきませう。――なに、平河町といつたつて、さう廣くはねえ、一日もかゝつたら、たいていわかると思ひますよ」

それから、尙も打あはせて、牛六は、歸つてゆく。

――……

五月廿二日　火曜　癸巳　先勝　建　宿

● 一白の人　權威を振ひ他の反感を購ひ易し氣運は佳良　乙と申と乾が吉

● 二黑の人　他人を壓迫して我意を行ひ後の患となる日　壬と癸と寅が吉

● 三碧の人　駈引自由ならず思ふ事半ばにも達し難き日　乙と丙と申が年

● 四綠の人　應急の策を講じ緩々後續手段を施すが安全　甲と乙と丁が吉

● 五黃の人　力及ばずと識らば惜氣を捨て更新するが吉　壬と子と丑が吉

● 六白の人　元氣に任せ一氣に事を成さんとするは失敗　巳と丁と子が吉

● 七赤の人　出所進退を明らかにして着實なれば功多し　丙と辛と壬が吉

● 八白の人　一家和樂の兆進て益あり開店普請移轉亦吉　巳と癸と丑が吉

● 九紫の人　便りに思ふ人に見放さる自立の覺悟を要す　甲と巳と申が吉

大正九年十二月十四日　第三種郵便物認可

新京日日新聞

朝刊
五月廿二日（火）

發行所　新京永樂町四ノ一　新京日日新聞社　電話三二二五・三三〇〇
發行人　十河榮忠
編輯人　松本勇
印刷人　谷啓二郎

農村パニツク打開　座談會の内容（三）
大豆慘落は政治的危機招來　破局的過程の農民

金融政策

福田氏（特產商）從來大連に於る鈔票相場の下つた時は特產の値は高かつた、現在世界的にインフレ傾向にある以上滿洲も通貨增發の必要がある樣に感ぜられるのであるが

山成中銀副總裁　事變前金票百圓に對し銀四十一圓、當時の特產相場は六圓であつたが、昭和八年の銀九十六圓の場合にも特產は依然として六圓を示してゐた、この事に徴しても明かな如く、國內に於る特產價格と銀の騰落とは必ずしも比例しないのである、之は銀相場は國際的爲替關係に於ては變動するが、銀を標準とする限り國內物價は常に安定を保つといふ事實上の原則から來てゐるのである

次に銀と金との關係を離れて國幣の引下げをやれといふ事であれば、これは滿洲國として實に困つたことである、それは滿洲國は舊政時代の暴政の結果紙幣の濫發を極度に警戒せねばならぬ點に於てフランス今日の建全な通貨維持に對する當局者の態度と全く同一の立場にあると言はねばならぬ滿洲人で平價切下げに怖れぬ者は一人として無いのである、何となれば、滿洲は過去の濫發の後を承けて、舊行號整理引繼の際大規模なデヴアリユエーションをなし所謂切開手術をなしたばかりである

然るに又復切下げを爲さねばならぬとせば、信用の破壞となり、滿洲國政治のめどが立ち得やうか、强ひて切下げをやれば、購買力はそれ丈け減ずる、これがためにはインフレを行はねばならぬ近頃インフレ景氣々々とインフレといふ言葉は無造作に種々亂用されてゐるが、抑々インフレとは何であるか、インフレとは經濟の原理を離れ、適度の量を越えて通貨增發を爲す事であつて、恰かも大酒飲みが、宿醉の苦痛を免れるための迎へ酒と同樣であつて毒をもつて毒を制するもので、量を越えればその結果は慘憺たるものがある、のみならずこのインフレ政策も元來農業方面にはその効果を期待されないのであつて、純然たる農業國たる滿洲國にあつては、言はばインフレによつて動かす可き對象無きものと云ふ可く、特に消費物を悉く外國に仰いで居る關係上、購買物品の騰貴するに比し、農產物はさしてその値上りを期待されないのである

××

次に、近頃銀行のデフレ政策云々といふ議論があるが、抑々銀行の發行高とは國民のポケツトにある金の合計に過ぎないのであつて、發行高に最高最低の差（滿洲昨年一五、五〇〇萬圓―一〇、三〇〇萬圓で五千萬圓、日本はその差六億圓）があるのは季節的關係によるのであつて農產物の出來る秋には多く春蒔時には少いのである、從つて銀行の發行高が最高になつた時を以てインフレとは云はないのである、何となれば之は增へる可くして增加したのであつて紙幣の濫發ではないからである、此の意味に於て現在の發行高を少し滑せといふことであれば、銀行としては反對でないばかりか、事實既に實行してゐる、即ち春耕貸款其他の貸付には、昨年度に於て千二百五十萬圓、本年度には二千二百五十萬圓其他商工貸款として五〇〇萬圓を貸出す他政府の方で金融組合を全國的に組織せられる方針と聞いてゐるが、之れに對しては勿論大いに賛成であつて、此の組合の要求には大いに應ずる事となつてゐる

然して之等は何れも經濟界の必要に迫られて貸付けるのであつて何等インフレといふ性質でないことは云ふまでもない

福田氏　充分諒解が出來ます

石崎氏（商工會議所會頭）　大きい政策の方面に缺けてゐるから實行に移すといふ事は出來ないと思ふ

小額貨幣の不足

大羽氏　例へば今迄江洋五錢ですんだものでも勢ひ金票の十錢を拂はなければならないといふ事實もあり、小額貨幣の不足の爲農民は諸拂ひに不利が多い

鷲尾中銀理事　奉天で五錢、十錢を澤山出してゐる、小額貨幣の不足は金票が足りないのではないか

大羽氏　北滿に於ては貨幣の單位が非常に低いのである購買範圍が非常に小さいために、勢ひ小い銅錢が必要とされる、十錢は相當出てゐるが、五錢一錢が少ない中銀で盛んに貨幣を作つてゐられる事は知つてゐますが、實際問題として矢張り小い貨幣が少ないために不利の支拂をしてゐる現狀である

鷲尾氏　中銀は一錢五錢をドシドシ出してゐる、五厘以下が必要かどうか、支行にて調査した結果、豆腐四錢ねぎ二厘五毛といふ報告で最低五厘で、充分だとしてゐるのだが、小額貨幣が不足なればドンドン請求して欲しい

大羽氏　近い將來農民の生活向上と共に、五錢一錢で充分だといふ事にならうが、何しろ一六八〇丁が一圓といふ生活になれた彼等にとつて丁文の引あげられたこの過渡期に於て非常に不自由してゐるのである

春耕貸款について

福田氏　春耕貸款貸付の經路如何

三宅財政部囑託　省が主となり省長の下に春耕貸款監理委員會があり縣に縣分會があつて相聯絡して土地の審査認定、資金の貸與をなしてゐる、中央では實業部、財政部が監督官廳です

福田氏　回收狀況は惡いといふが生活品購買に當てたといふ以外に之が農民の手に渡らず途中で消えてゐないか

三宅氏　調査の結果そういふ事はなかつた

ブロツク經濟と「國家貿易統制」（中）
經濟學士　田中新一

更に各國は國內市場を自國產業の爲めに確實にするため競うて高率な保護關税を課してゐる、元來保護關税は後進國が先進國の產業の攻擊に對し自國の幼稚產業を育成し、保護するために設定されたのである、その根本觀念は自由貿易主義であり、充分に發達せる後にはかかる人爲的な保護は撤廢されねばならぬとされてゐた、然し此の

觀念は既に大戰前から徐々に變つて居つた、獨乙や米國は大戰前に於ても有名な高率關税國であつた、又その保護下にある產業は充分に發達した產業であつた、之は單なる育成的保護ではなく自國產業のため國內市場を確保し、且つ國內に於て消費者を犧牲にして得たる獨占利潤を以て外國貿易戰に於ける競爭力を强大化するために利用されて居つた、戰後に於て貿易戰の一層の激化に件ひこの現實による保護關税は產業家によつて一層强く要求されたのである、かうなれば最早關税戰の高度に制限がないのだ、育成的の間こそ外國產業の侵入に對し、自國產業が相當の價格を維持し得る點に限らるべきであつたが茲に到れば税率が高ければ高い程獨占体は國內價格をその關税點まで引き上げることによつて多く獨占利潤を得、これによつて海外市場に於ては假令生產原價を割る程の競爭をしても立ち行くことが出來ることになる今や關税率の引上げに制限がない、各國は關税障避壁の高さを競うて居る一國の關税引上げは相手國の報復關税の引上げとなり

報復は報復を生み關税競爭は際限がないその內には殆んど禁止的な高率關税の設定を見るのである、戰後には永き自由貿易の傳統を誇つた英國さへも國際情勢に抗し得ず、一九三一年非常輸入税法、三二年新關税法により確實に保護貿易に轉向するに至つた、此の如き各國の關税競爭は結局自已の咽喉を絞むる如きものである夫故に各國はその弊害に絕えずその打開策を講ずるに至つたそのため屢々國際會議を開催し互に協定によつて此關税戰爭の休戰を試みたのである然し各國の自國本位の主張はそれを全く無効果に終らしめた一九三三年六月六十數ヶ國の代表が集まり世界恐慌を克服せんとの熱意の下に開催されたロンドン經濟會議も僅かに只一の收穫であつた暫定關税休日案の協定さへその後數ケ月ならずして協定國の脫退となつてしまひ全然失敗に歸してしまつた

母は「人物」を生む（上）
多難の日本　偉人が必要
法學博士　穗積重遠氏談

偉大な人物は、その人も偉いに違ひないが、その依つて來る原因が

母の感化に負ふ事が多い事を知るとき、私は今更乍ら母といふものの大切なことを痛感する、今日は所謂非常時とか、國難時代とか言はれて居るが、この多難の日本を今後立派にしてゆくに一番大切なものはやはり「人間であると思ふ、物質の窮乏もとより大問題であるが」「人物の缺乏」といふことは國家にとつて實に重大問題である、而も今日は甚だしくその「人物の缺乏」を感ずる、私は趣味として和歌が好きであるが、古の歌人の鎌倉右大臣源實朝卿を特に愛する、實朝の偉大なことは或は賴朝以上ではなからうかとも思つてゐる、鎌倉に覇府を築いて武家政治を創始した賴朝の事績は、德川幕府の滅亡と共に亡ひて終つた、然るに實朝の遺した歌集「金槐集」の一卷は今猶ほ燦然と輝いてゐる、實朝の和歌には頗る詩趣の豐かなものがある以外に、又燃ゆるやうな忠君愛國の念を現はしたものや人情味の溢れた和歌がある、母親に關した和歌としては「道のほとりに幼き童の母をたづねていたく泣くを、其あたりの人々に尋ねしかば父母なん身まかりしと、こたへ待りしを聞きてよめる」

いとほしや見るに涙もとどまらず親もなき子の母をたづぬる、物いはぬ四方のけだものすらだにも哀れなる哉や、親の子を思ふ

と云ふのがある

既に父母をなしくした子でも猶ほ母を慕つて泣いてゐる、又言葉さへ通じない獸すらも親はあのやうに子を思ふのであるがこれを更に奥深く考へてみると實朝の心情がわかるのである、即ち自分の一家―源氏の一家は何うであらう、權力のためには兄弟を殺し、親子も爭ひ合ふではないか、自分のお母さん（政子）は何んといふ情のない人であらう―といつた實朝の切なる情が現はれてゐる

澤邊より雲井にかよふ葦田鶴もうきことあれや音のみなくらむ

世間では自分（實朝）を幸福な身分だと思つてゐる、なる程高位高官ではあるが　家庭は甚だ不幸である、それを思へばまことに悲しくなるといふ意味である

日本の聖女
生田葵　作
南部鐵平　畫

一二二　蘇生後の波瀾（二）

「お前樣よりも時刻遲くお藥をお飲みになつたと見え、まだ一向にお眼をお開きになる氣勢がありませぬ」

お春がこたへて居ると、そのとき、森村の傍かではあつたが、あつと叫び聲を上たのが、一同の耳に捕へられた。

「お高殿の顏に生氣が上つてきた。お〻、顏が温かくなつて來て居る」

數之丞はお高の額に手を當てゝ居た。

すると、間もなくお定の眼を開けたのと同じ樣子で、先づ身體の上半身が動き、顏をしかめて、うめき聲を上げそれと〻もに、眼を開いた。

「お高殿、お眼ざめでござつたか。數之丞、これに控へて居ります。お春殿も、吉兵衛も、その他の者もかうして、一同集まつて、お前樣の息のかへるのを、待つて居りました。」

數之丞が一晉に云つた。

「お高樣――お目出度う存じます」

お春は、今迄の、氣遣ひか、取れたので、眼に、涙をたゝへてゐた。

「森村樣、お春殿吉兵衛、お〻、お定殿はもう氣がついて居られたか、その外の人達にかうして無事に逢はれるやうになつたのを悅ばしく思ひます。それもこれもマリヤ樣のお恵み……」

お高は、橫たはつたまゝ、合掌した。

お菊が、進み寄つて、お高を抱き起こし、お春の手で、白湯が飲められた、ゴクリ／＼飲み終へると、平常とちつとも變らぬ容子で

……

「一同はさぞかし心配して下されたことと思ひます。手數を掛けて濟みませなんだ」

お高は、はつきりした口調で謝を述べ身體に懸かる法服をはね退けて起上つた。

お定にしても、もう起上つてゐた。

囚人籠から此處へかつぎ込んで來たときに、お菊の注意でお高もお定も既に衣裳換をして居たのであつた。

戰鐘の音から人が這入つて來る相圖の鈴の音がした。

それは、引續いて、鳴り通した……。

附近から集へたものらしく、島邊野墓地を根城とする切支丹信者の非人達は、お高やお定が甦生つたと聽き知つて悅びに集まつて來たのである。

「お高樣、お目出度う存じます、お定樣お苦勞樣でした」

「高樣、お目出度う存じます、お定樣お苦勞でした」

非人達は口々に然う云つて、お高の復活を祝し、お定の勞苦を謝した。

「マリヤ樣のお恵みぢや」

「マリヤ樣のお恵みぢや」

お高は集まつて來た大勢の男女の信者へ、然う云つて、直ぐマリヤへの謝恩會が初まつた。

お高は聖像を禮讚し、お春は低う讃歌をうたつた。

集まつた信者達は、お高やお定のよみがへりに神秘な考へを釀ひつかして、以前よりも、一層お高を尊崇する心持を明白に動かして居た。

信者が一人づゝマリヤの祭壇へ進みよつて禮拜し、お高から額に手を觸れられて祝福を受ける段になると、一同が云ひ合したやうにお高の法服のすそへと跪を持つて往つた。

「○……」

×―□……」

七月の新年度から給與制度の合理化
官吏分限令等も同時に實施
近く國務會議上程

滿洲國建國當時匆々の間に暫定的に定められ今日に及び種々論議の的となつて居る官吏其他の俸給給與の合理化に就ては昨秋來總務廳人事處、主計處が中心となり、根本的確立を期し、折角準備研究中であつたが、最近急速なる進捗を見せ新俸給令を始め

官吏分限令　同　任用令　同　懲戒令
旅費規定　恩給令　恤金令

等關係各法案何れも本月末迄には成案を得、法制局に廻附國務院參議府兩會議を經て七月の新年度から早速實施の運びとなる模樣である、斯くて滿洲國給與制度の根本的合理化も愈よ實現される譯である

黄郛政權を脅す（上）
通車通郵問題
今後の推移注目さる

【北平廿一日發國通】「通車通郵といふ文字からして可笑しいので、汽車はちやんと通じてゐるし、郵便も不足稅を取られる丈けで遣り取り出來てゐるじやないか」「相當お土產はある」と自信の程を新聞記者に洩らして歸朝した有吉公使の談である

□

表面的に通車通郵なる事實のみを考へればまさにその通りである、然らば何が故にこの一見大した重要性を持たぬ單なる地方的問題と觀られる問題が重大視され、これに絡んで黄ファの進退さへ云々されるのであるか

昨年北支に黄ファが乘出したのは單に既に北平近郊に迫つてゐた我軍の鋭鋒を緩和する方便ではなかつた筈である、日滿支關係の調整と共に日支協力の空氣を先づ北支より釀成し進んで全面的日支提携に入らんとする大理想の下に敢然と起つたものである事は黄ファ自身もしかと語つて居るところであり、氏の其後の努力が其方向に向けられてゐる事は實績充分ならずとは云へ認められるところである、而して眞の提携の前提は双方の誠意にあり、その實現の能は否之を實現し得る力の有無に依つて勿論である、茲に於てか通車通郵設關問題は重大なる意義を持つ、即ち通車通郵設關問題は

（一）南京政府に眞に日支提携に到達せんとする誠意ありや否や

（二）黄ファ政權に果して中央を動かしてその獨自の方針に邁進し得る實力ありや否や

の試金石として重大なる意義を持つのである

國際情勢が少しでも日本に不利だと見ると直に氣が變るといふ機會主義の南京政府と、眞の提携に迄到達しるうといふのには、十分相手の肚を見極めた上でなければならぬ、その點停戰協定の附帶公約たる通車通郵設關すら對內的空氣からならまだしも對外的空氣によつて躊躇し或は實行しないといふに至つては、提携の前提たる誠意無しと斷じられる譯で、黄ファ政權も如何に誠意ありとは云へ、その誠意を以て中央を動かし、或は北支は北支でぐらひの勢で、ぐんぐん仕事をやつて行くのでなければ、日支提携への努力などといふ文字は飾り文句としか見られぬ譯で、通車通郵設關問題も解決出來ないとなつては誠意あるも實行力無しと斷定されても仕方ない譯である、最近全面的日支交涉開始說傳へられるや、全面的交涉に比し通車通郵等は地方的問題で大した問題でないとの觀方をする向もあるが之又必ずしも左樣に簡單に斷定出來ないのである

□

元來直接交涉なる言葉が頗る漠然たるもので滿洲事變以來日支間の外交が絕たれたことがある譯ではなく其の意味からは未だ曾て間接交涉などと言ふものが行はれてゐたことはない

通車通郵問題の交涉にしても黄氏が南京政府の指示を待つて事を處する行政院の一官吏である限り直接交涉と言ふも差支へない譯である、若しそれ直接交涉の意が國際聯盟或は第三國の仲介を絕對に斥けて直接日支兩國間に於て所謂紛爭國間に於ける直接談判の形で滿洲國問題を解決せんとするものならば南京政府外交當局の意向として傳へられた滿洲國を承認せざる範圍に於ての直接交涉などといふ言葉は意味を爲さないことになる此の點は益世報が五月九日の論說で「吾人は直接交涉に反對するものではない、然し日支間の總括的直接交涉といふ以上滿洲國問題を提起せぬ譯にゆかぬ而して滿洲國問題の提起は日本の拒絕となるであらうし結局所謂直接交涉は實行不可能といふほかない」とはつきりと指摘してゐるところである、結局傳へられる直接交涉とは滿洲事變以來交涉中止の形となつてゐた關稅問題賠償金問題等の諸懸案の交涉を開始し、之等を徐々に解決して行かうといふにあり、決して目新らしい事でもない、勿論相手方の誠意如何ではやがて之を日支問題の全面的解決にまで推し進めてもよいとの意向はあるかも知れぬがそれならば通車通郵問題を先づ解決し北支政權を媒介として双方の誠意により漸次日支間の結ぼれを解いてゆかうとする點に於て必ずしも通車通郵問題を所謂全面的直接交涉と關係のない地方的問題と斷ずる譯にはゆかない、有田公使の澤山のお土產なるものが南京側の

一、國稅引下げは五月以後實現の見込あり

二、南京事件賠償金支拂の意志あり

との二點の意志表示にありとすれば大したお土產には違ひないが、およそ全面的な日支關係の打開策とは緣の遠いものでその點觀方によつては日支直接交涉なる文字に關する限り却つて通車通郵問題の方がより密接な關係を持つて居るとも言ひ得る、この點吾人は有吉公使の談を通車通郵も重要だが他にも重要交涉案件が多々あるとの意の誇張的表現と解したい

田代憲兵隊司令官 中將に昇進か
陸軍大異動全面的に行はれん
上層部異動の豫想

【東京國通】七月下旬若しくは八月上旬行はれる陸軍定期大異動に就ては、林陸相は非公式に三長官の意向を聽取して滿洲事變のため二年間に亘つて停滯してゐる上層部人事の刷新を行ふ方針であるが、八月の定期大異動に就て部内に豫想される處では、臺灣軍司令官松井石根大將は此八月で在職一年であるが、朝鮮軍司令官川島義之大將と共に軍事參議官に轉補され、その後任としては參謀次長植田謙吉中將が朝鮮軍司令官に、又第四師團長寺内壽一中將は臺灣軍司令官に補される事となり、又陸軍次官柳川平助中將、憲兵司令官秦眞次中將は何れも士官學校十二期生にして、既に同期生中には師團長を綜つてゐる者もある位であるから、今回は師團長に轉出する筈で、此他第十師團司令部附建川美次中將、陸軍大學校長廣瀬猛中將、參謀本部第一部長古莊幹郎中將も師團長候補者で、此の中から陸軍次官も選ばれる事と觀られるが、之と共に陸軍中央部の局、部、課長にも大異動が行はれる模樣であり、今回の異動に於て中將に昇進する人々の中には旅順要塞司令官少將鐵山嚴氏、支那駐屯軍司令官少將梅津美治郎氏、關東憲兵隊司令官少將田代完一郎氏等も豫想されてゐる

滿鐵辭令

准備 松永健次郎　甲種傭員を命ず新京倉庫現業助手を命ず

滿洲國單獨で
所屬水面に水路施設
國境確立島嶼の所屬と別箇に

滿洲國では近く單獨で滿洲國所屬水面における水路施設を行ふことゝなつたが作業中はソ聯側と相互連絡の必要があるので、十八日滿洲航政局長から哈爾賓駐在のソ聯水路局長にこの旨を打電した、なほこの施設は單に航行の安全を保障せんとするもので國境確立並に島嶼の所屬などの問題に關係あるものではない

黑田問題の
樞府側首腦部の觀測

【東京國通】黑田大藏次官を中心とする綱紀問題と政局の動向に就き樞府首腦部は左の如く觀測を下して居る

現職次官が世上に傳へられるが如き問題で現職のまゝ起訴されたことは前代未聞の一大痛事であり、殊に國家財政の總元締であり銀行會社等の監督官廳たる大藏省の次官にその事實がありとすれば國家としては甚だ遺憾な事柄である、曾て後藤伯が農商務大臣時代にその下にあつた次官が東京取引所から金時計を贈られたと言ふことが問題になり、別段裁判上の問題にはならなかつたが世論に鑑み同次官が辭職し後藤伯も引責辭職をした事實がある、高橋藏相は當時特許局長でその間の事情を充分知つて居る元來淡白な人であるから進退に就いては充分考慮されるであらうと思ふがその際齋藤首相が如何なる處置を執るかゞ問題であつて齋藤首相は或は藏相を內相に兼任せしめ內閣をそのまゝ續けて行くかも知れない

大久保銀行局長 休職仰付けらる

【東京國通】大久保銀行局長は二十一日朝東京地方檢事局に召喚され取調べを受けてゐるが夕刻迄には起訴收容を見る筈であるから政府では之に先立ち持廻り閣議を經て左の如く同局長を休職處分とすることにをつた

大藏省銀行局長　大久保偵次

文官分限令第十一條第一項第二號に依り休職被仰付

本國鐵道職の二倍
北鐵ソ職員の
優遇されてゐる俸給狀態

【ハルビン國通】北鐵ソ聯側幹部級の俸給手當を一瞥すると左の如くである（單位金ルーブル）

一、副理事長代理　年俸　一四、七〇〇　手當　一〇、五〇〇　機密費　七五、〇〇〇
一、理事級　年俸　六、九九六　手當　五、〇〇〇
一、課長次席級　年俸　六、七二〇
一、秘書級　年俸　三、三六〇
一、管理局長　年俸　一七、四九六　手當　八、〇〇〇　機密費　三三、五〇〇
一、副管理局長　年俸　一〇、五〇〇　手當　二、〇〇〇
一、課長級　年俸　八、四〇〇

右の外理事級には齎任と共に舍宅料として一千ルーブル支給される事になつてゐるが、舍宅及家具類一切は官給品である、尚ソ聯本國の鐵道關係者はウスリー及びザバイカル鐵道長官の月給は手當を加へて千五百ルーブル、課長級は八百乃至九百ルーブル、次席級が五百乃至六百ルーブル、課長級四百廿五乃至五百ルーブル、秘書級百五十ルーブルとなつてゐる、右の如く北鐵ソ聯職員は本國の鐵道職員より遙かに優遇されてゐる譯である、從つて本國に歸るのを好まないのも無理はないと云はれてゐる

一頓挫の北鐵交涉
今週中再開か
外相獻身的に努力

【東京國通】北鐵讓渡交涉は廣田外相の熱心なる斡旋によつて中間會商も先づ無難に行はれ來つたが十四日の第三次會商に至つて兩者の主張は對立し一寸行詰りの觀を呈したので駐日ソ聯大使ユレニネフ氏は十八日廣田外相を訪問滿洲國側に讓步勸告を依賴する等交涉は一頓挫の形であるしかし乍ら斡旋仲介者の廣田外相は漁區問題、ルーブル換算率等の交涉その他日ソ間の懸案は尚多數あるに鑑み圓滿なる交涉進捗を企圖して居るから多分再び斡旋の勞を執り兩者に妥協を勸告するものと觀られるから今週中に第四次の中間會商を續開することとなるものと觀られて居る

秩父宮奉迎で
正副總裁の上京遲る
滿鐵株主總會の準備進む

【大連國通】六月二日東京で開催される滿鐵株主總會に就ては東京支社を中心に着々準備を進められつゝあるが、秩父御名代宮殿下の御渡滿奉迎並に奉仕の爲正副總裁は總會出席の上京を切詰めその代りとして目下來連中の大淵理事及び竹中理事が數日中に上京し、總會に臨み萬端の準備を整へる事となつた、竹中理事は語る

正副總裁の上京が遲れるので大淵君と共に一足先に上京し八年度の決算を始め總會の準備を行ふ心算である內閣が動搖してゐる樣だが內閣の更迭があつても滿鐵の資金繰は大した影響はなからうと觀てゐる

ハルビン賽馬會の壽搖彩票（小）
一等當選は六二七、七三四

哈爾賓國立賽馬會における馬政局發賣の第六回壽（小）搖彩票は二十日抽籤の結果左記番號が當選と決定した

一等六二七、七三四▲二等二四、六二一▲三等七六、一四八▲等外七〇、七二、二六一、三三四、五二四、五八五、七六四、七七六、八一八、八九〇

第十二次 國務院會議

二十一日開會の第十二次國務院會議に提出された議案は左の通りである

一、嫩口橋梁架設工事のため國道局に臨時職員增設の件

一、孫實業部理事官の兼任を解き趙震を權局長に任命する件

文教部で 教育聯合會の打合せ

二十四日から三日間文教部で各省教育廳長會議が開催されることは既報の通りであるが更に引續き二十八、九の兩日同所で各省教育會聯合會の打合會が行はれることゝなつた

桑折侍從武官 着連

【大連國通】在外海軍部隊御慰問のため畏き邊りより御差遣ばされた桑折侍從武官は靑島まで出迎へた旅順要港部枝原司令官、中野副官と共に廿一日午前五時大連入港の、「奉天丸」で來連し、要港部差廻しの自動車で旅順に向つたが旅順要港部及び所屬艦船御慰問の上新京に赴き駐滿海軍部を御慰問の豫定である

軍政部が 兵規處理規則 遵照方訓令

軍政部ではかねてから兵規處理規則の作製を急いでゐたがこの程完成したのでいよいよ七月一日から實施することゝなり十七日關係各方面へこれが遵照方を訓令した

沼田中佐 離京

イタリー大使館附武官に榮轉する沼田中佐は十九日着任した堀中佐と諸般の事務引繼を了し、廿一日午後四時卅分發列車で內地凱旋の途に就いたが、驛頭には關東軍幕僚、特務部員、宇佐美顧問、筑紫參議、谷參事官、草間採金會社副理事長等官民多數ホームを埋め中佐在滿中の功績を物語るに相應しい見送りであつた

佛のパリソワール紙のジ氏近く來京

佛のパリソワール紙外報部長ジュール、ソーエルワイン氏は十九日朝北京を發し新京に向つたが氏は新京視察後北鮮を視察してウラジオに至りシベリヤ經由で歸國の豫定であると

讀者の聲

新京に欲しい公營食堂
井下光太郎

新京に欲しいものの一つは市營食堂だ、たまの日曜散步歸りにすきッ腹を抱へてそば屋へでも馳け込むとうどん粉の中から出て來たやうな女給さんに取りまかれ、思ひ切りふんだくられて靑くなつて飛び出すと云つた仕末だ、それに食堂と名のつく店へ行つても澤山のサーヴイス孃がくつついてゐるので氣の小さい僕などはをちをち飯も喰つてゐられない、財布の中を勘定しい飲食店を物色し乍ら步き廻はらなければならない我々安月給取りに、せめて三度々々の飯だけでも落ちついて氣樂に喰べられる食堂が欲しいものだ

それには、何でも早く儲けて早く內地へ歸らうなどと考へてゐるやうな不心得な飲食店業者にばかり委せておかないで、當局で營養と衞生を兼ねた而も廉價な公衆食堂を經營して貰ひたい

まして最近の新聞は官吏減俸案を報道してゐる際、生活費は依然高いわ、月給は減らされるわでは月給取りも立つ瀨がない、是非公營食堂の設立を希望する、外のものと異つて每日三度のめしのこと故一つ快々的實現の日を要望して止まない

投稿歡迎 中傷はとらず
紙上匿名は可なるも一應住所氏名を御知らせを乞ふ

黑河鎭 黑河と改稱

黑龍江省愛琿縣黑河鎭は二十二日から名稱を黑河と改められることゝなつた

シネサービス 西公園で映畫無料公開

市內朝日通シネサービス新京支店今井義郎氏は二十一日新京署保安係を訪れ夏季納涼映畫として每日一回乃至二回づつ、西公園で無料映畫を公開する旨申出た、同署では直に許可した

大朝支局次長 知識氏來社

大阪朝日新聞社滿洲支局次長に榮轉、このほど着任した知識眞治氏は二十一日本社來訪着任の挨拶を述べた

愛國號エアーポケットに入り 植松機關士慘死

【濱松國通】十九日午後五時頃愛國第百拾號輕爆機が演習飛行中靜岡市西方十キロの上空に於いてエアー、ポケットに入り機體動搖せるため同乘の機關士植松俊夫氏は振り落され慘死した

元藏相 片岡直温氏逝去

【京都國通】貴族院議員片岡直温氏は豫て重態を傳へられて居たが、廿一日午前十一時四分遂に京都の自邸で逝去した、享年七十六才、同氏は民政黨の長老として政界に活躍し、曾て大藏大臣であつた

偶語

黑田次官問題、案のぜう發展して政局こゝもと暗雲低迷、內閣の前途も覺束ないと傳へられる、▼內閣の總辭職も止むを得ざれば詮方なし、潔く投出すもよいが、さて後繼內閣はどうなる▼人材內閣よく、後援內閣よし、されど吾等の望むところは、より强固なる內閣の出現である▼現下の重大問題は何といつても確固たる對滿政策の實行如何である、よく現地の實情に聽き、誤りなく堂々と所信を斷行し得る內閣であれば何人が首班たりともよい▼地方事務所の野村社會主事らの熱心な努力で今年こそはと思つてゐたプールの水もどうやら駄目らしい▼折角の設備が出來ても、肝腎の水がないやうでは、如何とも出來ない、いくら嘆いても仕樣はないが、しかしその責任は誰が負つて吳れる？▼現在附屬地の給水は、滿鐵の分ではどうしても足りない、その不足は滿洲國から貰ふことになつてゐるがこれがまた當てになつて當てにならない▼元來人の懷などを當てにするなど根本の間違ひで、これも仕樣ことなしの結果といへばそれまでだが、それでは一向に市民は浮ばれそうにない▼大滿鐵たるもの、この際特に新京の水問題について、考へ直す必要はないか

体育聯盟の財源を 通濟公司が寄附か
幹事、小荷物運搬業移管を交渉 近く寄附金額決定

昨年四月結成した新京体育聯盟の將來の活躍は全市民間に相當期待されてゐるが、從來確固たる財源なく、資金に窮してゐるので、この際ある種の財源を求めてゐたが奉天などで既に實施良好な成績を擧げてゐる驛構內小荷物運搬營業をわが新京でも經營すべく現營業者通濟公司に二十日午前十時から聯盟幹事が出向き經營移管方依賴したが通濟公司では營業移管は認め得ぬがその代りに若干の寄附を体育聯盟になすことを約し、當日は幹事は引上げいづれ兩三日中に通濟公司主が体育聯盟理事長を訪問して寄附金額なども決めることを約した

新京庭球部のスケジユール いよく決まる

昭和九年度新京庭球部スケジユールは左の如く決定した

對外
一、洲外選手權大會 七月中旬於旅順 選手四組派遣
二、洲內外對抗試合 八月上旬於大連 同三組同
三、洲外大會 八月下旬於奉天 同四組同
四、全滿選手權大會 九月上旬於大連 同四組同
五、全滿大會 九月中旬於奉天 同四組同

遠征
一、對撫順チーム 九月中旬 選手七組派遣
二、對鞍山チーム 七月上旬
三、對四平街チーム 六月下旬

招聘
一、對大連チーム 八月下旬
A東京軟式庭球協會 六月十日
二、對奉天チーム 七月下旬
B學生聯盟 八月中旬
三、對鐵嶺チーム 七月上旬

新京の部
一、春季トーナメント カップ爭奪戰 五月
二、春季大會男女 六月同
三、各箇所對抗 八月同
四、鐵道對地方 七月同
五、B組滿洲國人對日本人 七月同
六、秋季トーナメント男女 八月同
七、秋季大會男女 九月同

附屬地小學校問題打合せのため 松村事務官近く來京

外務省亞細亞局第二課松村事務官は滿鐵附屬地小學校問題打合せのため往復二週間の豫定で近く來京する旨大使館に通知あつた

新京釣魚會 一等賞淺沼君

新京釣魚同好會では既報の如く二十日早朝新京郊外園山浦の沼に遠征春季第一回競技會を開催したが折惡く少々惡天候の爲、出足も少く同勢十四名で午前二時出發、拂曉釣を始め夕刻意氣揚々無事歸還したが獲物は主として鮒入賞者左の通り

一等 四四五匁 淺沼君
二等 四一五匁 毛塚君
三等 三六〇匁 森君
四等 三六〇匁 新野君
五等 三四〇匁 鈴木君
△大物釣賞
一等 森君
二等 毛塚君
三等 鈴木君

尚同好會では六月初旬日曜を利用し飲馬河に遠征第二次競技會を催す由

未遂に終つた リンチの計畫

前記四回に亘るリンチの他更に次の如く計畫されてゐたが何れも關係者が檢擧されたので未遂に終つた

△赤坂臺町田中實方の大串雅美リンチ事件が不成功に終つたので當時監視の任に當つた高橋善次郎が故意に大串の看守を怠つて逃走せしめたものとして中央印刷局長柿沼こと西澤隆二は高橋をスパイ視した結果、之を處分する事にし黨員鈴木正二に命じて埼玉縣浦和町前地一八二清水所有の家屋を借り受けて殺害し死体を床下に埋めて逃走する手筈であつたが鈴木が田中實の妻鶴子と街頭連絡中檢擧されて未遂

△リンチ事件發生後その眞相が一般に傳はると黨內は勿論外廓團体にも甚しい動搖を生じ黨に對する不信が濃厚になつたので狼狽した秋笹等は全協中央委員長オツサンこと小高保にプロバカートルの汚名を着せリンチを加へて一擧に動搖を防止せんと計畫、木島隆明が實行の任に當り、鮮人梁泰成に命じて千葉縣松戸町字松戸向山下一三三一齋藤方の家屋を借り受けさせ小高を殺害せんと着々準備中を關係者檢擧さる

△大串雅美をスパイとしてリンチ中同人が逃走したのを中央印刷局長西澤隆二は看視の責任者高橋善次郎をスパイとしてリンチを加へんとしてゐたに對し秋笹、木島等上層部では西澤自身の責任として彼を除名しリンチを加へる事に決定したが西澤が檢擧されたので未遂に終つた

△リンチ行動隊長として幾度かリンチ實行を擔當して來た木島隆明は被害者が果して宮本等のいふ如くプロバカートルであるか否かに多大の疑惑を懷き從つて直ちに殺害の態度に出る事を躊躇した爲、上層部は疑ひをかけてゐたが、殊に大泉、熊澤、横山等が檢擧されリンチ事件の表面化したのは木島のスパイ的行動によるものではないかとの疑ひが濃厚となり、全協常任委員長のリンチ終了後査問する事に決定してゐた

△本島の査問に次で更に最後的斷罪として袴田、里見をもスパイとして俎上にあげる豫定であつた

詐欺犯人 札幌で逮捕

市內富士町二丁目荷馬車請負業和田作治(三一)は本年三月以來前記場所に居住し、荷馬車請負業に從事中憲兵隊員と稱し市內各商店で現金日用品一千圓余を詐取し去る五月三日新京を逃走し北海道札幌市南一條通に潜伏中を新京憲兵隊員が探知し、同隊の手配で十九日札幌憲兵隊に逮捕された旨通知があつた

警務機關總動員で 完璧の警戒陣
御名代宮御渡滿を前の新京

秩父御名代宮殿下を御迎へする新京では、奉迎に御警衛に各機關を擧げてその準備に =大童= であるが、殊に御警衛に就ては萬全を期すべく、憲兵隊、警察署、領事館警察、首都警察廳等日滿警務機關は先般來種々審議を重ね、御大典、觀兵式に充分の經驗を積んだ優良憲兵、警察官を總動員して水も洩らさぬ一大警戒網を張る事となり、新京警察署憲兵隊では既に不穩分子の檢束、家宅搜索を實施し第一期警戒期間に入つてゐるが、來る六月一日よりは愈々本格的な警戒に入り、高等司法より成る特察隊を組織して事前警衛に主力を注ぎ、當日に備へる事となり新京警察署に於ては全滿各地より優秀なる警官四百名の =應援= を求め、高山署長指揮の下に署員三百七十名と共に最後的警戒をなし、應援憲兵の來京により陣容完全になつた憲兵隊其他の各機關と戮力文字通り不眠の警戒陣を張る事になつた

奉迎並に御警衛の 準備全く成る

【大連國通】愈々近く秩父御名代宮殿下を御迎へ申上げる事となつた大連埠頭は船客待合所及び倉庫の塗り換へに取りかゝり、其他の奉迎準備も一兩日中に着手する事となつた

尚殿下の御入滿當日に於ける埠頭御到着より御上陸御出發迄の御警備取締りに關しては滿鐵埠頭、海務局、水上署等の關係當局が會合最後の方針を決定する事となつたが、御乘艦足柄が港外に御投錨するか又は岸壁に着くかゞ判明せぬ爲當局では右兩樣の場合に處すべく二通りの御警衛方針を樹てる筈である

慶祝大運動會 總委員會

慶祝大典新京大運動會總委員會は來る廿三日午後一時卅分より總務廳會議室に於て開催に決定會長金璧東氏の名を以て關係各方面へ夫々通達した

舞踏會利益金 千七十二圓を衛戍病院へ
在京白系露人の美擧

皇軍傷病兵に同情した新京在住の白系露人は、去る四月二十八日夜寬城子北鐵クラブに大舞踏會を開催して、同夜の利益金全額千七十二圓を憲兵隊を通じて新京衛戍病院に寄附し、美しい國際愛として世人の注目を惹いたが、衛戍病院では未だかゝる纏つた大金を寄附された事なく一同感謝し、たまたま菱刈軍司令官の傷病兵巡視の際この旨を報告管理部とも協議の結果これを喜んで受納する事になり、十九日衛戍病院より新京在住白系露人商人代表ペトロフ商會主トミローフ氏に對し感謝の意を申傳へた

延吉縣亮兵臺の 白系露人移 住後の生活

延吉縣亮兵臺附近居住白系露人の敦化縣沙河沿移住は既報の如くであるが、其後十一家族六十余名は沙河沿八家子附近に移住し來り縣當局は吉林省公署の承諾を受けたが、固より彼等には何の蓄へもなく勿論農耕資金もなく、窮乏の極にあつて沙河沿白家長其他の滿人より收穫時に返還する條件の下に粟、包米等を借受け前記場所に假家或は天幕等を使用して居住し居り滿人下層以下の生活をなしつゝあるが附近居住の滿人は痛く同情を寄せて居る

雨模樣 まだ一兩日は 觀測所發表

新綠の街路樹に霧のやうな春雨が降りそゝぎどんよりたれこめた雲足もにぶく、この二三日新京は鬱陶しい日が續くが新京觀測所の話では十九日午前から七五四ミリの低氣壓がチ、ハル、ハルビンを中心に北滿に發生し、一方南は天津から青島にかけて同程度の低氣壓が發生したが、この兩低氣壓の間に不連結線(氣壓の谷)か連り、これがため一昨日邊りから天氣が惡い、尚新京附近は大体北滿の低氣壓が滯留し發達する見込があるので、天氣は依然として惡く、二十一日の午前中も雨でせうと云つてゐる

栗原正金 支店長 病氣全快挨拶

横濱正金銀行新京支店長栗原重康氏は重患後暫く自宅靜養中であつたがすつかり回復數日前から行務を視るまでに至つたので廿一日各方面を全快挨拶に歷訪した

昨日來京の 滿洲派遣衆議一行の日程

既報、衆議院滿洲國派遣議員一行(濱田國松團長以下十八名)は二十一日午後九時三十分着列車で京圖線を經て來京したが一行滯京日程は次の通り

▲二十一日午後九時三十分着 東亞ホテル投宿

▲二十二日午前八時新京神社參拜、八時から九時まで國務總理大臣、宇佐美顧問、遠藤總務廳長、各參議など敬意を表す、午前十時から正午まで軍司令部訪問、參謀長、同副官訪問、大使館訪問、駐滿海軍部訪問、憲兵司令部訪問午後一時から四時まで民政部、興安署、國都建設局、文教部、國道局、司法部、外交部、財政部、實業部、交通部、特別市政公署、中央銀行訪問、説明聽取、夜間軍司令部參謀長招宴(場所日時未定)

▲二十三日午前八時から十時まで自由行動午前十時三十分から十一時まで宮內府訪問 皇帝陛下に謁見を賜り正午大使館招待、一時から三時三十分まで南嶺寬城子戰跡弔問(在鄉軍人分會副長説明)飛行場視察三時三十分以後自由行動、夜間國務總理大臣招宴(ホテル)

▲二十四日午前八時三十分發ハルビンへ向け出發

紅裙の手踊で 終日賑つた西本願寺
親鸞上人七百廿四周年忌

五月二十一日は宗祖親鸞上人御降誕第七百二十四周年忌に相當するので新京祝町西本願寺では當日午後零時から佛前で光岡慈照師の「親鸞上人と獨立者の信念」と題して講演あり終つて、午後一時から同寺前庭で餘興を催したまづ料亭八千代舘、南海の藝妓の手踊六幕、町內有志の三曲合奏少女の舞踊、佛教婦人團の劇(石童丸)などあり夕暮れとともに七時三十分から映畫あり、午後八時三十分この意義あるご誕生日をお祝したなほこの日は特に西本願寺のご接待としてうどん菓子すしぜんざい券を參拜者に無料配給して境內で一般に接待をなし、終日婦人、子供の參詣者あり境內には振り袖すがたの少女たちが吹きならす風船玉の音も賑はしく緣日の感があつた

四平街 春雨烟る裡に
春季大運動會開催 惜しや雨の爲中止

市中對滿鐵聯合の全市を綜合したる春季大運動會は春雨烟る中に午前九時花火合圖公園新グランドに於て開催した、この日心なき春雨に大會氣分は幾分減殺されたが憂慮せられたるも、八百米決勝に大會の火蓋は切つて落され遣勝の意氣物凄き市中軍のデモ、榮冠を本年こそはと肉迫する聯合機關區驛の應援に氣勢を上げ、大會氣分濃厚であつたがトラックが泥水の如き狀態にて各委員緊急參集今日の成績は次回秋季運動會に其儘繰越す事に協議一決し午後一時半中止を宣した

大會記錄

戰績	機	驛	聯	市
八百米	1	0	2	7
百米	3	4	0	3
重荷連絡二人三脚八百米リレ	7	1	5	3
提灯	7	2	0	1
四百米	1	4	0	5
千五百米	0	2	1	7
二百米	5	0	0	5
計	24	13	8	31

次回延期 八百米決勝
一等 山田(市中)二分二五
二同 木村(同)
三同 林(聯合)
四同 岡田(機關區)
特點 市中七、聯二 機關區一、驛〇

百米決勝
一等 松永(驛)一一秒二
二等 李(市中)
三等 牛澤(機關區)
四等 常藤(同)
驛四 機關區三 市中三 聯〇

重荷連絡二人三脚八百米リレ 得點
一等 機關區 一分七、四分五七
二等 聯合 五
三等 市中 三
四等 驛 一

提灯
一等 泰藤(機)一、三四分五四
二等 近澤(同) 三
三等 川上(驛) 二
四等 金子(市中) 一

四百米決勝
一 松永(驛)一分 四
二 草島(市) 三
三 秋房(市) 二
四 田中(機) 一

千五百米決勝
一 富樫(市中)五分二・四 三
二 馮(市中)
三 西村(驛) 二
四 林(聯) 一
市中三 聯〇
市中七 驛 二

二百米決勝
一 林(市)二四秒 四
二 常藤(機) 三
三 牛澤(機) 二
四 草島(市) 一

借金を催促され 女給を毆打

十九日午後九時半頃四平街驛保線區勤務爲田某假名が市內像祥街トミヤ食堂に來り女給外山かすみに酒肴を命じたるに該女給より同人が前に遊興したる借金を請求せられたので衆人環視の中で俺を侮辱したりと激昂し同女給を毆打顏面數ヶ所に治療一週間の打撲傷を負はしめた訴へに依り當署目下調査中

きのふの 朝鮮人民會聯合會

第六回全滿朝鮮人民會聯合會は二十一日午前九時より新京大和ホテル大食堂に於て開催今年は熱河省興安署その他各地の新設民會並びに間島より有志の參列あり在滿朝鮮民問題が眞劍に研究されて居る際とて此聯合會は識者間の觀聽をあつめてゐる

寫眞==一、朝鮮人民會聯合會に於ける會長野口多內氏の挨拶

忠靈塔基金へ 金百圓を寄附
圖們の松尾氏が

國際運輸株式會社圖們出張所輸送部長松尾光治氏は先に令閨を亡ひその忌明に故人の冥福を祈るため、各所に寄進金を贈つたが、忠靈顯彰會の事業忠靈塔建設基金のうちに寄附したしと二十日金一百圓を本社に寄託した

松井上等兵 勇戰の詳細
伊巴丹の住民感謝葬儀に列席

十七日午前六時半ごろ三百數十名の匪賊が伊通縣伊巴丹を來襲し、その際伊巴丹警察署に假泊してゐた新京―伊通―公主嶺―懷德間の警備班員松井上等兵が應戰中賊彈に戰死し急援に向つた伊通領事館警察巡查部長渡邊熊夫氏が貫通銃創をうけた事件は既報の通りであるが、二十一日前記區間の警備班長河野晴通氏から國道局に寄せた詳報によると河野氏は十六日午前七時ごろ松井、立崎兩上等兵および滿洲國騎兵二十名を指揮し伊通を出發して途中料杭を打ちながら伊巴丹に至り翌十七日朝(午前六時半ころ)同所を出發して伊通に引かへすべく食事中のところへ數百名の匪賊襲來の報をうけたので氏は直ちに警務局東方一角の望樓に輕機關銃をすえて松井上等兵に應戰を命じ河野氏は他を指揮して應戰中のところ運惡くも銃眼より飛來した彈丸が松井上等兵の頭部を貫通し即死したものである、なほこの來襲をうけた伊巴丹は家屋四十數棟を燒失したが河野氏の救援處置が早かつたのと防戰よく努めたため千五百余名の住民は危急を救はれたので大いに感謝し二十五日國道局で執行される松井上等兵の葬儀には同地の代表が出席することゝなつてゐる(寫眞は松井上等兵)

鏡泊學園の犠牲者 十三勇士判明

寧古塔よりの歸途十七日北湖頭南方十キロ大廣嶺にて突如匪賊の襲擊を受け戰死せる鏡泊學園職員學生並に日本守備兵十三名の氏名は左の如し

第〇〇隊二中隊上等兵 椎橋勝造
一等兵 熊川幸藏
二等兵 上野五郎
同 川名謹吾
同 中山芳富
鏡泊學園總務(宮崎縣)山田悌一 四三才
理事(東京)樹下清雄 三七才
幹事(愛媛縣)今井和佐久 三三才
學生(宮崎縣)菅原寅夫 二一才
同 龜澤賢雄(同)二三才
同 室田貞雄(同)二一才
同 武田六藏(新潟縣)二三才
同 後藤宇三郎(岐阜縣)二一才

亡き先輩の遺志を あくまで繼承
鏡泊學園新入生交々語る

鏡泊學園第一期生補充の新入生二十四名は昨二十日夜田中園醫等に引率されて着京、記念館に止宿したが、鏡泊學園山田總務以下十三名の悲報に接し交々語る

我々は國を出る時から滿洲の土と化す覺悟で來ましたが今朝山田總務以下先輩諸士が戰死された事を聞いて驚かされましたが、我々は亡くなられた總務や先輩の意思を承け繼いて、鏡泊學園の使命をあくまでも遂行するつもりです、山田先生はかねがね人格識見共に秀れた人だとき、この先生の御指導を受ける事を何より嬉しく思つてゐましたがもう亡くなられて淋しいです

一行は二十二日午前六時新京發現地へ向ふ筈

ビタモ

新治療榮養劑

ヴイタミンAの原基カロチン主劑　各種純ヴイタミン原基綜合劑

東北帝大教授井上博士指導
元東北帝大講師　森元博士創製

各科治療の主導藥

榮養の寶庫

シユワー博士もいふ通り、カロチンの發見と抽出の成功は醫界稀な大收穫であるが、他のヴイタミンBCDE等も多數學者の手で最近に全部の原基抽出を略完了したことは、これも醫界の大福音で、多くの疾病はために著しく治療容易となつた

カロチンは、服みにくゝて不安定なヴイタミンA劑を不用として從來專らヴイタミンAがなすと考へてゐた作用の全部をなし、細胞賦活、血液新生、肺機能亢進、疲勞物質の排除等酸化作用も增進し結核、チフス、感冒等の傳染病、胃腸、糖尿病其他多くの難症の豫防治療に著効あり、又種々の眼疾、長生にも貢献するほか、一グラムの千分の二といふ極微量で鼠を充分發育せしめる程高い榮養價値を有する（萬國ヴイタミン會議公認）

麥酒酵母がよいといふのはヴイタミンBを含んでゐるからであるが、Bも原基ならば一日二グラムの投與で重い脚氣も四五日間に治す偉力を有し（京大島薗内科で實驗）食慾、消化、發育等の促進、心臟や神經系にも著しい好果を示す、

其他骨膜や齒齦等の障碍、腸内細菌の撲滅等に特効あるC、骨や齒の成育要素で、腺病質、創傷、感冒豫防等に絶大の効あるD、生殖作用に絶對必要なE等もビタモは總て效率高い原基で網羅してゐる。ビタモは實に各科必備の藥味箱、榮養の寶庫たる觀がある

ヴイタミン療法（テラピー）

保健の妙諦

運動の選手でも胃腸や肺、肋膜、神經衰弱等に罹り、夭死することあるのは、ヴイタミン不足からで、ヴイタミンは日光や運動に代る効果を肉体に與へるが、日光に當つたり、活動力を消耗する程ヴイタミンを多く要するのである。又胃腸の丈夫な人でも糖尿病、腎臟病等に罹り、病菌に犯され易いのは蛋白質の新陳代謝が不充分なからであつて、蛋白質と脂肪はカロチン、含水炭素はB、無機物はD等の各ヴイタミンが充分でなければ消化活用が円滑に行はれず、又これらの榮養素を多く攝る程ヴイタミンを多量に要する

以前原因不明といはれた疾患の原因が判明したといふ報告には、大概カロチン以下どれか一種乃至數種ヴイタミンの不足が原因であると述べられ、又從來豫防或は治療困難といはれた疾患もカロチン以下どれか一種乃至數種ヴイタミンの給與で治療容易であるといふことを陸續として報告せられる故、輓近歐米では如何なる疾患にも主としてヴイタミン療法を施す

從來のヴイタミン劑は總て本体不明のまゝに蒐集したものだが、ビタモはカロチン以下總て次の如く構造式の確然とした純原基で配合した。吾國では原基ヴイタミン劑も珍らしいが斯くも完全な綜合ヴイタミン劑は更に珍らしい

構造式確然たる含有ヴイタミン原基の化學式
- カロチン＝$C_{40}H_{56}$
- B＝$C_6H_{10}ON_3S$
- C＝$C_6H_8O_6$
- D＝$C_{27}H_{42}O$
- E＝$C_{35}H_{54}O_2$…（$C_{40}H_{56}O_2$）

藥價至廉　用量極少

錠劑（一〇〇錠入　一圓七〇／五〇〇錠入　三、〇〇）用量一日一―三錠宛
粉末　一〇〇瓦入　五、〇〇

□□□□……各地一流藥店、百貨店にあり
御申越次第文献、見本進呈す

カロチンは体内に於てヴイタミンAとなり他は体内に蓄へられて徐々にAに變化し、尚酵素、ホルモン等を新生又は增生す
ビタモ一錠に含有するヴイタミンAの原基カロチンは牛乳八升九合に相當す

主なる治療例

□胃腸　結核　脚氣　糖尿病
□腎臟病　血管硬化　早老　癌　結石
□神經衰弱　婦人病　蛔蟲　淋疾等に

効果顯著

發賣元　株式會社ビタモ社　大阪市東區北濱三　東京丸の内東京海上ビル一六六五
代理店　大木合名會社　丹平商會分店
奉天加茂町一六　日本賣藥奉天支店
大連浪速通　日本賣藥大連支店